

様式第4号（第9条関係）

令和5年8月24日

小野市議会議長 様

派遣議員 河島 三奈

### 議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

#### 記

1 派遣日 令和5年8月8日（火）～令和5年8月10日（木）

2 派遣議員 川名善三 小林千津子 前田光教 河島三奈  
村本洋子 宮脇健一 山本麻貴子

3 派遣先 北海道千歳市 富良野市 恵庭市

4 内 容 千歳市・・・基地対策・連携について  
富良野市・・・観光施策について  
恵庭市・・・花ロードえにわについて

#### ① 千歳市 基地対策・連携について

##### 1) 千歳市の特徴

千歳市は北海道の南側に位置し、東西に細長い形状をしており、豊かな緑と美味しい水の国立公園に指定されている支笏湖があり、令和2年の国勢調査では人口平均年齢 44.3 歳の北海道一若い街

でもある。令和元年における新千歳空港の年間乗客数は約 2459 万人で、世界に開かれた国際都市であり、輸送ネットワークが整備された道内最良の工業適地であり、最先端企業があつまる工業都市に数えられる。令和 5 年の 2 月にはラピダス株式会社の立地が決定している。また歴史も古く、狩猟採集民の築いた構造物としては、世界的にも最大級である「国指定史跡キウス周堤墓群」はユネスコ世界遺産に令和 3 年登録されている。

また、自衛隊基地の町としても有名で平成 19 年には人口の 3 割が基地の関係者であった。

## 2) 市民・行政との連携

基地とともに生活してきた町であるので、自衛隊の訓練などでの騒音などに対する備えを十分にできるように、行政も働いている。苦情として厭うのではなく「いかに共存していくか」との考えの元、国からの交付金や補助金で市民生活の質を上げていくように努力されている。

## 3) 人口推移と自衛隊員の割合

10 万人都市をめざしているが、もう少しのところまで来ている、現在は市民の約 25% が自衛隊の家族を含める関係者であるが、昨今、国の防衛が北より南にシフトしてきている現状や、陸自の縮小の動きなどもあり市や議員も協力して、国に要望活動をしたり、市民の理解を得るための活動をしている。

## 4) 昨今の市の様子

昨今は新千歳空港の関係者の人口が増えてきており、ラピダスの企業立地も決まった関係で雇用が進んでいる。退官した自衛官もそのまま残ってくれることが多いため、工業団地などの働く先があることは市も市民にとってもよいことである。

## 5) 米軍との合同訓練等における市民意識

訓練の規模が大きくなるので、関係関連の方々も含む地元住民協議会を開催し、普段の自衛隊の訓練時とは違う個別対策の申し入れを行っている

## 6) 市民への情報の提供・周知

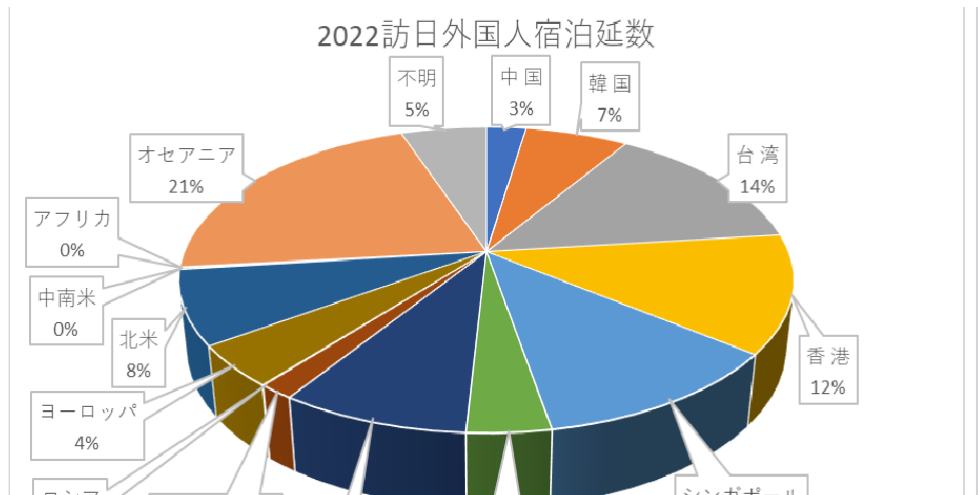
基地があることによって受けられる交付金等の説明などは、「学校のお便り」SNS、市のホームページ等で随時行っているが、理解

を求めることは難しい。隣の恵庭市と一緒に国への要望などを行い、近隣市ともよい関係を築きながら、ともに歩んでいる。

## ② 富良野市 観光施策について

### 1) 富良野市の特徴

農業と観光のまちで市直営のワイン工房があり、ワインの生産販売に力を入れている。空港から距離があるので、二次交通が不便で、JRの維持が課題になっている。また「富良野」のイメージが強すぎて、近隣の町や、市が富良野の名前でTVなどに紹介されることが多い。スキー客も多く特に近年はエルニーニョ現象の加減でヨーロッパからのスキー客が増加している。市内には5400のベット数を誇り、ホテルもあるが人員不足で100%の受け入れができず、単価が上がる傾向にある。



### 2) ふらの版DMO

#### (1) なぜ、“ふらの版DMO”と？

#### ・富良野美瑛広域観光の推進と、地域連携DMO

##### 富良野・美瑛広域観光推進協議会の設立 (平成6年度～、事務局 富良野市商工観光課)

- ・ 行政～富良野市、美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村 ・ 北海道上川総合振興局
- ・ 構成自治体内の観光協会 ・ JR北海道、JR富良野駅、JR美瑛駅 ・ 航空各社 (日本航空、全日空、AIRDO)
- ・ 商船三井フェリー ・ ふらの農業協同組合 ・ 美瑛町農業協同組合

##### 富良野・美瑛観光圏整備計画を国が認定 (平成25年度～)

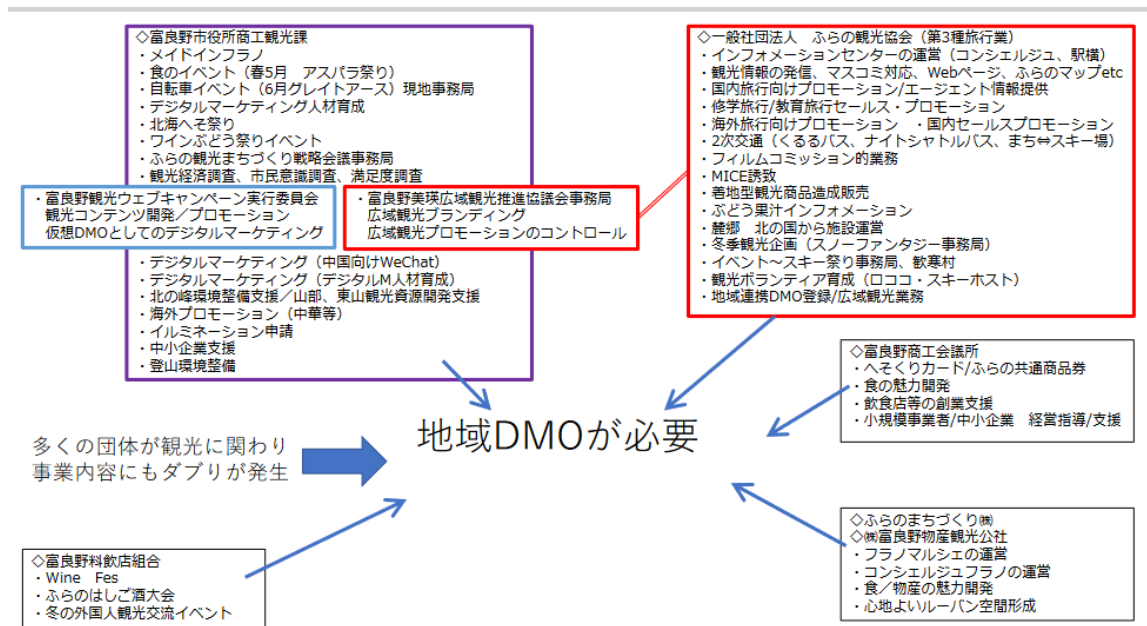
- ・ 平成20年に観光圏整備法が施行
- ・ 平成25年度に観光圏整備計画を国が認定
- ・ 平成25年度から29年度までの5年間で、観光地域ブランド確立支援事業補助金の支援を受け、観光地整備
- ↓
- 補助事業者＝観光地域づくりプラットフォーム＝観光整備実施計画に記載されている法人＝(一社)ふらの観光協会
- ・ 平成30年度から令和4年度までの5年間の計画認定を受ける

##### 地域連携DMOの候補法人として登録 (平成29年度～)

- ・ 平成29年度に(一社)ふらの観光協会が、地域連携DMOの候補法人として、登録

## ※DMOとは 観光地域づくり法人

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った、観光地域づくりの司令塔として多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

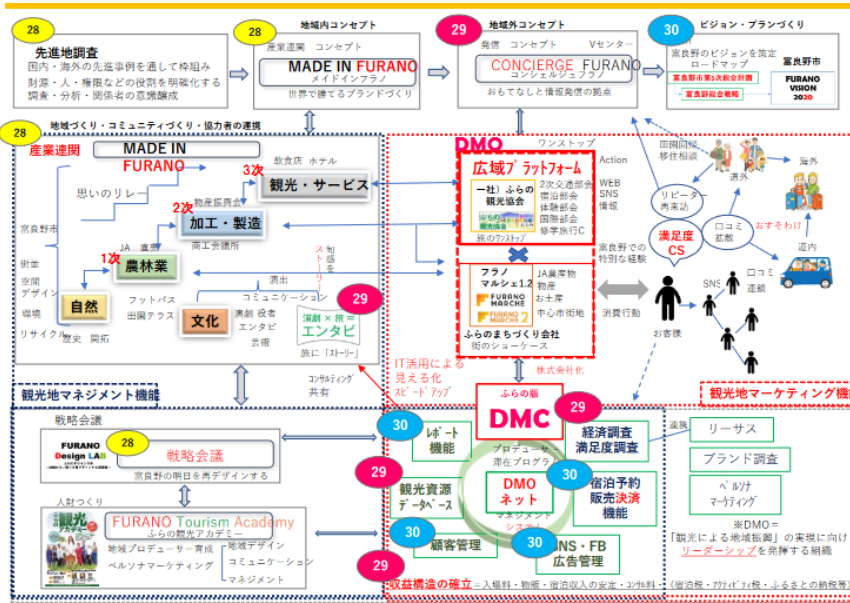


## 検討と挫折・経過

### (2) DMOの検討と挫折 ・経過

年月	経過
平成28年	ふらの観光まちづくり戦略会議において地域DMOの検討開始
平成29年	アメリカ ベイルリゾート等の視察
平成30年2月	㈱富良野物産観光公社が第2種旅行業を取得
平成30年6月	コンシェルジュフラノ オープン
平成30年11月	富良野市観光振興財源庁内検討プロジェクトチーム会議発足
令和元年7月	観光振興財源検討有識者会議発足
令和2年2月	北海道においてコロナウイルス感染者発生
令和2年2月	道内7市、北海道へ宿泊税についての協議の場設置の要望
令和2年3月	有識者会議より市長へ宿泊税導入の提言書提出
令和2年6月	市長、市議会にて宿泊税導入検討「先送り」を表明
令和3年2月	㈱富良野物産観光公社が第2種旅行業の更新を断念
令和4年6月	市長、市議会において「アフターコロナに向け、中断しておりました観光をマネジメントする組織であるDMO (DMC) 設置に向けた検討を再開」所信表明

コンシェルジュフラノ プロジェクト3カ年計画と概念図



3) 活動拠点コンシェルジュフラノ

外観



内装 総合受付



※商工会議所、観光協会、青年会議所などの事務所が入居

3階は宿泊施設で、簡易ホテルのような内装で外国人客も多い

4) 観光戦略

コロナ禍には大分ご苦労があったようだが、公式観光 LINE や SNS などを使駆使、「フラノブランド」の周知に取り組む

課題へリピーターを増やす、富良野FANを増やす  
 コロナ禍→富良野観光ウェブキャンペーン実行委員会（現在解散）



令和3年度からLINEの富良野市アカウントから観光情報プッシュ配信



左が富良野市民向け、右がふらのFAN向け



また、ドラマ「北の国から」のロケ地としての知名度もあるので、関連事業収益が約 5000 万円（過去全盛期は億を超える）

ロケ施設は TV 局の制作で市に寄付され、メンテナンスは観光協会が行い、入場料などで賄っている。市は施設の周辺整備や、駐車場、トイレの整備を行っている。

### ③ 恵庭市 道と川の駅花ロードえにわについて

#### 1) 恵庭市の特徴

平成 14 年に JR 恵庭駅が快速列車の停車駅となり、交通アクセスが道都札幌に 23 分、新千歳空港には 13 分となり、高速道路網も整備され、農・商・工業を中心に道央圏の要所として着実に躍進している。隣の千歳市と同じで基地関係者が人口の 25% を占め、自衛隊はとても身近な存在である。近年は観光＝花として花関連に力を入れている。

#### 2) 花の拠点整備事業

新設花の拠点「はなふる」をはじめとして、新設のガーデンエリアを中心に農産物直売所（かのな）、道の駅「花ロードえにわ」宿泊施設（フェアフィールド・バイ・マリオット北海道恵庭）RV パーク、RV パークの利用者向け施設花の拠点センターハウスを敷地内に整備し、「花」を観光の中心とした取り組みをしている。

市民にもその意識は広がり、市民の家の庭をオープンにし、ガーデンングを見学することができ、それに対し、案内のボランティアのガイドが活動していたが、コロナ禍での活動縮小や、ガイドの高齢化などにより、担い手不足が課題となっていたが、「はなふる」ができ、緑化フェアの開催を契機に「はなふるガイド」が新規設置され、新し

い人が参加するようになってきた。

### 3) 新規施設の効果

- RV パークを整備したことで、道の駅の無断宿泊がへり、治安対策になった。
- はなふるにスターバックスが出店したことで、学生の来客が増加、結果客層のバリエーションが広がった。
- ガーデンエリアにはファミリー層が増加、宿泊施設は、周辺施設に客が流れやすいように工夫されたコンセプトで建設、オープン以来8割の稼働率で順調に運営されている。
- 「収入のある公園」をモットーに指定管理料として1億5～6千万かけているが、なかなか黒字にはならない。
- センターハウスには子供の遊び場（室内遊技場）があり、利用料も安価で人気が高い。

## 5 所 感

千歳市においては、新千歳空港の影響において、市の情勢が大きく変わり、基地とともに歩む町からよりよくグレードアップしていると感じました。国の防衛の要所が南に向き、昔ほど北海道の主に陸上自衛隊における影響力が小さくなったとはいえ、訓練時に発する騒音など、終わりのない問題です。必要なところは臆せず国に要望し、市民生活において不都合が出ないように、官民協力していっている姿勢に感銘を受けました。防衛関係の補助金を小野市も受けており、基地と駐屯地の規模の差こそあれど、同じように「自衛隊」における協力と今後の連携を目指すための視察研修でしたが、大変勉強になりました。これからはますます自衛隊の必要性が増すと推測される時代の中で、小野市に駐屯地があることに感謝しながら、ともに歩んでいけたらと思います。

富良野市においては、観光施策をテーマに研修させていただきました。小野市は、「観光では食べていけない」けれども、生き残りをかけた時代情勢の中で観光にも力をいれていかなければならないと感じています。

富良野市は、広大な自然や大規模な土地を利用した農業など、ポテンシャルが小野市とはくらべものにもなりません。DMOの取り組みなどは、大変勉強になりました。観光協会の在り方、近隣エリアの協力の仕

方など小野市と北播磨地域とで考えることに参考になります。今後も広域で取り組まれるところの動向など注視していきたいと思います。また、私個人が考える特筆すべき点は、ごみの分別・リサイクルとその結果一部得られるたい肥を肥料として活用し、観光施策の主軸とも取られるラベンダーに使用、それをうまく宣伝しているところであると感じました。ごみの分別・リサイクルに関しては、余計にコストがかかるが、世界的レベルで取り組みがなされている分野で、私自身疑心暗鬼になりつつある中で市民にどのように理解と協力を取り付けられるかが重要で一朝一夕にできるものではなく、人口も多くなれば猶更です。根気強い取り組みに富良野市のみならず、他市の同様の取り組みをされている市町に敬意を払いたいと思います。

恵庭市においては、視察に出る前にも蓬萊務市長から恵庭市長へ挨拶があったようで、公務ご多用の中私たちの視察研修先にお土産持参でご挨拶に来て頂き、恐縮いたしました。ご本人にお会いし、首長同志の交友や、交流など大切なものなのだ実感しました。小野市でも「花」や「自然」が市政において重要なポテンシャルを秘めたものであると考えています。日本のみならず、海外レベルでも共通点をもつ自治体を探し、小野市に取り入れていけたら、今後の「市の価値を上げる」施策にも反映できるのではないかと考えています。「花」「自然」「芸術」「音楽」しかり「目に見えないもの、残しておけないもの」が心の余裕であり、健やかな心をはぐくむ重要な因子であると考えます、それがすなわち「市の良いところ」であり、「選ばれるまち」になれる一歩ではないかと思いました。特に、えこりん村の「とまとの森」一本の普通のトマトの木を水耕栽培で藤棚のように大きく育て、過去にはギネスにも掲載され数々の視察もあり、「市の周知」には大いに寄与したものだと思います。どのようなことも、極めれば大事になる。目からうろこの遊び心のあるところ（市）なんだと思いました。結構な維持コストがかかっているはずですが、18年も継続されていることが素晴らしいと思います。同じことは、二番煎じになるのでどうかと思いますが、種類を変えるかあえて、株分けのような形で「名を継ぐ」という選択肢もあるかと勝手に想像していました。将来に夢を見る。心に余裕のある大人、高齢者そして子供たちを得る、そんな市にしていきたいと改めて思った次第です。



令和 5 年 8 月 24 日

小野市議会議長 山本悟朗 様

派遣議員

小林 千津子

## 議員派遣報告書

先般、実施しました 議員派遣による行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

**1 派遣日** 令和5年8月8日(火)～令和5年8月10日(木)

### **2 派遣議員**

河島 三奈 小林千津子 前田 光教 川名 善三 村本 洋子  
山本麻貴子 宮脇 健一

### **3 派遣先及び調査内容**

(1) 千歳市

基地対策・連携について

ラピダス(半導体)会社誘致に向けた取り組みについて

(2) 富良野市

観光施策について

民間活力「ファーム富田」視察

(3) 恵庭市

花ロードえにわについて

えこりん村(とまとの森)見学

#### 4 調査結果

【第1日】 8月8日(火) 10時30分～12時00分

基地対策(連携)について

於 千歳市 市役所 (人口 96,965人 面積 594.50ha)

説明 企画部 次長

企画部基地政策課基地政策係 係長

##### 《視察目的》

千歳市は駐屯地との連携により、防災センター「そなえ〜る」や小学校の防音設備等、基地との連携を図っており、今後の小野市での駐屯地との連携を研究するため。

その他にラピダス(半導体)の企業誘致に向けた取り組みについて  
現地見学

##### 《視察内容》

○千歳市には、陸上自衛隊東千歳駐屯地、北千歳駐屯地、航空自衛隊千歳基地 基地の他防衛装備長の千歳試験場や北海道大演習場が所在。これらの防衛施設は市街地に隣接、あるいは至近な距離に在り、全体面積は4,897haと行政区域の8.2%を占め又市街化区域の約1.5倍もの広大な面積を有している。

○ 自衛隊員数は陸上自衛隊東千歳駐屯地 約5,000人  
北千歳駐屯地 約1,700人  
航空自衛隊千歳基地 約2,500人  
家族を含めると市人口の1/4は自衛隊関係者。

○基地交付金等の推移

平成29年度	530,722千円
平成30年度	517,080千円
令和元年度	497,080千円
令和2年度	498,232千円
令和3年度	492,501千円
令和4年度	503,569千円

○『そなえ〜る』千歳市防災学習交流センターの概要

主な施設の概要	千歳市防災学習交流センター	1棟
	管理センター	1棟
	防災訓練広場	約2.4ha

駐車場・ヘリポート他 約 1.9ha

消火・救出体験広場他 約 1.1ha

野営生活訓練広場他 約 3.0ha

施設の利用方針 ・行政と自主防災組織、ボランティアとの連携を図る  
防災学習交流活動  
・住民が日頃から防災意識の高揚や自主防災組織づくりのための活動

利用形態「平時」 ・防災学習交流施設 一般開放施設  
「災害時」 ・現地対策本部や一時避難等利用

### ○防衛省に対する要望事項

- ・住宅防音助成に関する要望
- ・砲撃音対策に関する要望
- ・防衛省所管補助金に関する要望  
道路舗装、補修や消防庁舎等各種補助事業の支援  
小中学校におけるエアコンの設置基準の緩和  
コミュニティ施設や消防庁舎など民生安定施設の整備、改修の補助額引き上げなど

### ○要望活動の成果

- ・平成 23 年度 図書館、保健センター等の改修を追加  
活用実績 平成 23 年度～24 年度 図書館改修  
平成 24 年度～25 年度 総合福祉センター改修
- ・平成 24 年度 市町村庁舎（改修）を追加  
活用実績 平成 24 年度～25 年度 本庁舎温度保持設備更新  
平成 30 年度～令和元年度本庁舎改修（耐震等）
- ・平成 28 年度 消防庁舎（改修）を追加  
活用予定 令和 4 年度～令和 6 年度 消防庁舎改修

○視察終了後 千歳市役所食堂にて昼食

○ラピダス（半導体）建設予定地見学

### 《所 感》

市民の 4 人に一人が自衛隊関係者、公道を 90 式戦車が、歩道、車道と並んで走行している、又、交付金、補助事業と、当市とは比較にならない規模の自衛隊基地、演習があると市役所の窓ガラスが揺れ、砲撃音が聞こえるとのことでした。至近距離に学校や一般住宅がある、そんな状況の中日々生活をされて

おられる、防衛省に対する要望も増加すると考えます。

広大な面積を占める自衛隊基地で、地域の市民と共存し日本を守って頂いていることに感謝です。

庁舎内の食堂でお昼ご飯を食べました。メニューもたくさんありおいしく頂きました。

ラピダス（半導体）株式会社の誘地現場も見学させて頂きました、広大な土地にどれだけの建物が建つのか、楽しみです。



ラピダス建設現場



千歳市議場

**【第2日】** 8月9日（水） 10時00分～12時00分  
富良野市（人口19,923人 面積600.71km<sup>2</sup>）  
コンシェルジュフラノ2階 商工観光課  
説明 富良野市経済部商工観光課 課長

#### 〈視察項目〉

##### 観光施策について

富良野市は、ふらの地域一体が観光地として存在しており、広域的な取り組みと、民間活力について調査を行い今後の小野市施策に向け研究を行う

#### 〈視察内容〉

コンシェルジュフラノ2階の商工課の会議室で、経済部商工観光課、課長より説明を受ける。

東に大雪山連邦十勝岳を望み、西に夕張山系芦別岳、風光明媚な盆地、富良野。山肌には国際的なスキー場、北海道の中心ということで「へそと

スキーとワインの町」として市民ぐるみで町づくりに取り組んでいると  
のことでした。「日本のへそ」ということで兵庫県西脇市と協定を結ばれ  
ています。コンシェルジュフラノは宿泊施設となっており案内を頂きました。

## ファーム富田

フラノと言えばラベンダーの花畑と描いていましたが、時期はずれ  
で写真で見るような一面のラベンダー畑では在りませんでした。ラベ  
ンダーの匂いに包まれた園内でした。

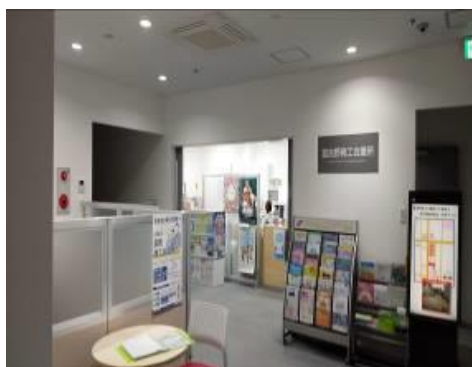
ファーム富田の歴史をみますと、明治36年初代富田徳馬氏が福井県  
より入植、昭和33年香料用作物として栽培を始め、昭和45年富良野  
地方でラベンダーの栽培がピークを迎えたが、昭和47年には合成香料が  
台頭、一時期は富田家1軒だけとなるがラベンダー畑が国鉄のカレンダ  
ーにより全国に紹介され観光客が訪れるようになった。全国発送のメロ  
ン、トウモロコシ、ミニとまと、ワイン等販売され、夏休みでもあり外国人  
の方と、大変な観光客で賑わっていました。

## 《所 感》

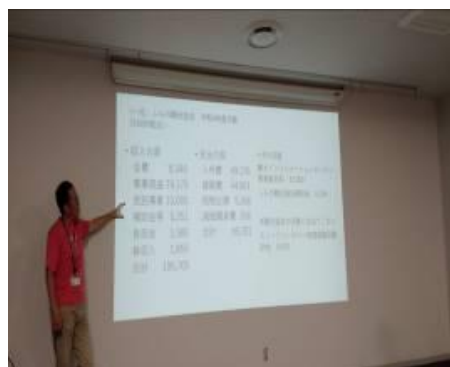
明治36年本土から入植され血のにじむような御苦勞をされて、ラベン  
ダー栽培をされ普及された初代富田徳馬氏、現在私たちが観光で美しいこ  
の景色をみせて頂けることになり感謝です。

ファーム富田で地元農産物を販売されておられ大変賑わっていました。

私はメロンを買い送りました。事を起こすと言う時は何事でも先陣を  
きって動かなくてはいけないのですが、開墾で土地を得此処まで大きくさ  
れたエネルギーは私たちには計り知れないものがあります。初代富田徳間  
氏に感謝です。座して待つでは何事も前進は望めないと実感しました。当市  
は観光を主にはしてはいませんが、何か特産品が作れないか考えてみたいな  
とおもいます。東に十勝岳を望み西に夕張山系芦別岳、風光明媚な盆地、  
山々には朝霧が立ち大変風向明媚な土地でした。



コンシェルジュフラノ



【第3日】 8月10日(木) 9時30分～12時00分

恵庭市 (人口：約7万人、面積：294.65K㎡)

道と川の駅「センターハウス」

市議会議長より歓迎の御挨拶を頂く

説明 観光課課長及び主査から説明頂く

恵庭市長から御挨拶を頂く

#### 《視察項目》

「道と川の駅」花ロード恵庭について

道の駅にホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわ」を誘致、通過型から潜在型の観光スタイルへの転換を目的とした。花の拠点を中心とした市内観光の推進に取り組まれている。

#### 《視察内容》

「フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわ」が令和4年5月にグランドオープン、4階建て102室のホテルの向かいに広大なガーデンエリアが広がっていました。2020年11月に誕生した花の拠点（はなふる）農産物直売所「かのな」、子供の想像力やコミュニケーション力を育む遊びの空間えにわファミリーガーデン（りりあ）や花と緑に囲まれた「RVパーク」花ロードえにわ等、子供から大人まで楽しめる拠点施設でした。ガーデンシティえにわ、春にもう一度訪ねたいと思います。

#### 《所 感》

早朝から議長の長谷文子氏からご挨拶を頂き、又視察途中で市長の原田裕氏からご挨拶を頂き手土産までいただきました。歓迎に感謝です。

道の駅ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット」は大変美しいホテルで外国人宿泊者が目立ちました。

ホテル前のガーデンには暑い最中、花の手入れをされているボランティアの方々に遭遇しました。

きれいな花を咲かすためには大変な苦勞がいます。

個人宅の庭を一般公開してオープンガーデンをされていました。聞きますと勝手に庭に入られ問題もあるようでした。道の駅には地元の産物が並んでいてたいへん大勢の方が買い物にお越しになっており、観光客の方も多く見かけました。小野市も夏はひまわり、秋はコスモス、と咲かせていますが年中みられるものがあればよいのにと考えます



花の拠点 (はなふる)



センターハウス

令和5（2023）年8月23日

小野市議会議長 山本悟朗様

派遣議員 前田光教

## 議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣（行政視察）の結果について、  
下記のとおり報告いたします。

### 記

#### 1 派遣日

令和5年8月8日（火）～ 令和8年8月10日（木）

#### 2 派遣議員（7名）

山本麻貴子 宮脇健一 村本洋子 河島三奈  
前田光教 小林千津子 川名善三

#### 3 派遣先

北海道千歳市	基地・駐屯地対策と自衛隊連携について
北海道富良野市	観光施策について
北海道恵庭市	道と川の駅「花ロードえにわ」について

#### 4-1 調査研究内容

##### **[ 第1日目 ] 北海道千歳市**

##### ●千歳市の概要

人口 97,950人 面積 594.50km<sup>2</sup> 人口密度 165人/km<sup>2</sup>  
人口増減率 2.4%（令和2年国勢調査）  
財政力指数 0.75 将来負担比率 0.4%（令和3年度）  
議員定数（条例）23人 現員数23人（令和5年6月19日時点）



## 《視察項目》 基地・駐屯地対策と自衛隊連携について

### ●日本最大の自衛隊

陸上自衛隊（2駐屯地）、航空自衛隊（1基地）が所存し、自衛隊員とその家族を含めると人口の約25%であり、町内活動等を通じて市民生活と大きな関わり合いをもっている。

東千歳駐屯地 約5,000人 北千歳駐屯地 約1,700人  
千歳基地 約2,500人 合計 約9,200人（約9.6%）

### ○都市形態

昭和39年に北海道ではじめての自治体による工業団地造成に着手し、現在では11箇所の工業団地を有しており、現在、半導体のラピダス株式会社の進出に向けて造成が行われている。

### ○2009年「公報ちとせ2月号特集」（山口幸太郎元千歳市長）

千歳から「自衛隊が去る日。」は決して迎えてはなりません。「自衛隊の体制維持を求める期成会」を立ち上げ、自衛隊削減を止める活動を進めてきた。

### ○防衛施設周辺整備事業（一般会計に占める割合）

令和3年度	2.75%	令和2年度	2.28%	令和元年度	4.70%
平成30年度	5.18%	平成29年度	4.03%	平成28年度	3.55%

### ○補助実績

- ・第2庁舎建設事業（平成29年～平成30年）  
事業費 2,025,398,000円 補助金額 618,117,000円
- ・本庁舎改修事業（平成30年～令和元年）  
事業費 616,502,000円 補助金額 450,442,000円
- ・防災行政無線デジタル化整備事業（平成29年～令和元年）  
事業費 609,656,000円 補助金額 457,242,000円
- ・第3埋め立て処分地嵩上げ事業（令和元年～令和3年）  
事業費 304,120,000円 補助金額 152,059,000円

### ○令和4年度防衛施設周辺整備事業（防衛省所管補助金合計 1,477,081,000円）内訳

障害防止 117,068,000円 騒音防止 77,180,000円 民生安定 81,000,000円  
道路補修 31,267,000円 防音維持 15,563,000円 調整交付金 844,296,000円  
訓練移転等交付金 310,300,000円 ※環境整備法第3条・第8条・第9条関係（含）

### ※C経路（戦車通行道路）まちづくり事業の事例として

防衛省の新たな補助制度の制定（平成14年度）

「まちづくり構想策定支援事業」

「北海道大演習場等周辺まちづくり構想」策定

→ 防災学習交流施設建設（そなえ～る）・体験型野外広場の整備（平成17年）

## 5-1 所感

小野市・加東市・加西市に位置する青野原駐屯地の規模と大きく異なりますが、今回、防衛省メニューからの交付金・補助金を中心に視察、研修を実施しました。

防衛省に対しての積極的要望活動と同時に、自衛隊員との共生・共存を図り、市民には地域の安全安心を担保し、行政経営を展開されていました。

防衛補助事業は、決して補助金だけが目当てではなく、一般市民と防衛省関係者が共存していくための原資として存在し、有効的にまちづくりに寄与しているものと考えます。

自衛隊と隣接する「河合地区」、自衛隊と共存・共生する「河合地区」、その河合地区に生活する当方にとっては駐屯地の存在、自衛隊員への感謝、そして安心感、何とも言えぬ感覚ではありますが、これまでに増して駐屯地はもとより、自衛隊との連携に努め、地元と駐屯地の連携に務めたいと感じるところです。

今回の視察では千歳市全体を理解するため、半導体メーカー「ラピダス株式会社」千歳工場建設地にお邪魔をし、日本最大級の東千歳駐屯地の外周からの見学、現在リニューアル工事中の道の駅「サーモンパーク」、そして防衛補助事業で建設した千歳市役所第二庁舎、千歳市役所食堂の見学もさせていただきました。

2日後の帰路に就く際には千歳基地を拝見し、自衛隊との共存による国防意識とまちづくりを体感したように感じています。

### ●防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策

防衛省は、1974（昭和49）年以来、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律（環境整備法）などに基づき、自衛隊や米軍の行為あるいは飛行場をはじめとする防衛施設の設置・運用によりその周辺地域において生じる航空機騒音などの障害の防止、軽減、緩和などの措置を講じています。

## 4-2 調査研究結果

### [ 第2日目 ] 北海道富良野市

#### ●富良野市の概要

人口 21,131人 面積 600.71km<sup>2</sup> 人口密度約 35人/km<sup>2</sup>  
人口増減率 -2.2% (令和2年国勢調査)  
財政力指数 0.35 将来負担比率 64.7% (令和3年度)  
議員定数(条例) 16人 現議員数16人 (令和5年5月19日)

#### ◀視察項目▶ 観光施策について

一般社団法人ふらの観光協会

#### ○広域観光協会から一般社団法人ふらの観光協会

平成 6年～ 富良野・美瑛地域観光推進協議会の設立  
平成20年 観光圏整備計法 施工  
平成25年 観光整備計画 国が認定  
平成29年 一般社団法人化(観光地域ブランド確立支援事業補助金)  
ロケ施設を資源「北の国から」の  
地域連携DMOの候補法人として登録

#### ○ふらの版DMOへ挑戦は

平成30年 株式会社富良野物産観光公社が第2種旅行業を取得  
コンシェルジュフラノOPEN  
富良野市観光振興財源庁内検討プロジェクトチーム会議発足  
令和 元年 観光振興財源検討有識者会議発足  
令和 2年 2月に北海道でコロナウイルス感染者発生  
道内7市が北海道へ宿泊税についての協議の場設置の要望  
6月市長・市議会にて宿泊税導入検討「先送り」を表明  
令和 3年 株式会社富良野物産観光公社が第2旅行業の更新を「断念」  
令和 4年 6月市長・市議会 DMO(DMC)設置に向け検討を再開

#### ○入湯税ならぬ「宿泊税」に挑戦

令和2年2月22日 有識者会議が1人1泊200円「宿泊税」提言  
令和2年2月26日 札幌市長 観光発展図り宿泊税導入を正式表明  
令和2年6月11日 富良野市「宿泊税」導入先送り

#### ○リサイクル率90%のまち富良野市

14種に分別、ごみ分別の先進地から「ゼロカーボンシティ」へ!

## ○更なる挑戦

北海道文教大学・富良野市・富良野商工会議所・ふらの観光協会が包括連携協定を結び更なる挑戦を進める。

## 5-2 所感

「ふらの」は富良野市・上富良野町・中富良野町・南富良野町と、「ふらの」の自治体名だけでも4自治体、また、「ふらの」とは美瑛町も含む総称として使用されています。各々の自治体で観光協会が存在していますが、富良野市を中心とした近隣自治体との連携となる「一般社団法人ふらの観光協会」が設立されており、富良野のブランド化と行政とは異なる施策と、単独の実行予算を以て取り組まれていました。

また、ふらのワイン工場は富良野市の直営で経営されているとのことで、少し驚きの部分でもありました。

今回の富良野市への訪問は、元々は開拓地であった土地をラベンダー等で名を全国に広め、今やラベンダーはもとより、メロン、野菜の産地としても君臨する富良野を体感しました。

## ○富良野市・関係各位からの紹介でその他現地視察実施先

南ふらの道の駅（南富良野観光協会）      ファーム富田（開拓からの歴史資料館）  
近年オープンのドリーミンチェーンの「ラビスタ富良野ヒルズ」

## 4-3 調査研究内容

### [ 第3日目 ] 北海道恵庭市

#### ●恵庭市の概要

人口 70,331    面積 294.65km<sup>2</sup>    人口密度約 239人/km<sup>2</sup>  
人口増減率 0.0%    (令和2年国勢調査)  
財政力指数 0.60    将来負担比率 12.3% (令和3年度)  
議員定数(条例) 21人    現議員数21人 (令和5年5月1日)

#### 《視察項目》 道と川の駅「花ロードえにわ」について

#### ○道と川の駅基本コンセプト

道と川の駅花ロードえにわは、恵庭を流れ、サケの遡上も見られる漁川と、1日3万台以上の交通量がある国道36号沿いが交差するエリアに、観光と交流の拠点とすることを目的に、平成17年にオープン。その後、現在の花の拠点（はなふる）を整備するにあたり、花の拠点の玄関口に位置する重要な施設として位置付けられ、花の拠点のインフォメーション機能や休憩場所に加え、レストラン・売店機能も備えた複合施設として多くの人を訪れている。

## ○運営形態について

花の拠点全体の管理運営は、指定管理者制度を導入し、花ロードえにわ・農畜産物直売所かのな・花の拠点魅力向上エリア（スターボックス・おむすび苺びす）、フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわについては、都市公園法による管理許可制度（市に使用料を納め、民間事業者が運営する手法）により運営している。

また、花の拠点内でキッチンカーの出店やイベントを実施する際は、恵庭市都市公園条例及び花の拠点条例に基づき、行為許可制度（占有するエリアの面積等に応じて使用料を納める）による運用を行っている。行為許可に係る事務はすべて指定管理者業務の中に組み込んでいる。「りりあ」は、市の花であるすずらんを意味するスウェーデン語が由来。

「かのな」は漢字で「花野菜」と表記することもあり、花と野菜の直売所であることが由来となっている。

## ○一年を通しての花の拠点「はなふる」としての花の選択について

はなふるの特徴でもある7つのテーマガーデンには、設計ガーデナーごとに様々な花が植えられており、設計後もはなふるのガーデナーと意見交換をしながら維持管理を行っており、春から秋まで長く楽しめる植物も多く取り入れている。

## ○市内観光促進のための道の駅を中心とした戦略について

恵庭市の観光スタイルは長年「通過型」であり、花ロードえにわへの入込数は100万人程度で安定していたが、滞在時間が短く、観光客の市内消費促進が課題であったことから、「滞在型」の観光スタイルへの転換を目指した。花の拠点（はなふる）は、花のまち恵庭を体現する施設としての側面の他に、宿泊施設やファミリー層が利用できる子ども向け遊技場、滞在を促すガーデンエリアやカフェ機能を備えた新たな観光拠点として整備した施設であり、花の拠点を中心とした市内周遊、消費拡大を図っている。市内周遊促進、消費拡大事業のひとつとして、マリオットでのタクシー利用券配布事業があり、令和5年度は6月末時点で1,266枚の配布に対し596枚の利用と想定を大幅に超える利用があり、マリオットと市内飲食店の往復利用をされている方が多い。

## ○市内、道外からの花ロードえにわへの来場者実績

令和4年度実績では、市外来場者が8割程度であり、道外来場者はそのうち1割程度。ガーデンフェスタ北海道2022の開催により、道外来場者数は増加傾向にある。

## ○フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわ設置の経緯と連携

通過型から滞在型の観光スタイルへ転換を目指す中で必要な宿泊施設の誘致を検討していたところ、積水ハウス(株)が実施している「TripBase 道の駅プロジェクト」の存在を知り、花の拠点の宿泊施設設置に可能性を見いだせたことから、公募を実施し、同社が設置者となった。

令和4年5月26日にフェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわが開業してか

らは、花の拠点内で行われている各種イベントへの協力・協賛や、上記プロジェクトの一環としてのデジタル観光マップ「はなたびマップ」の作成、タクシー利用券事業による宿泊者の市内周遊促進と消費拡大など、様々な面で連携しながら、花の拠点を中心とした市内観光の推進に取り組んでいる。

### ○オープンガーデンと市民ボランティア花ガイドの内容・効果・問題点

1991年に恵み野フラワーガーデンコンテストが行われ、徐々に全国的に「花のまち」と知られるようになり、見学・視察が増えたことから、平成17年に恵庭市民花ガイドが発足した。

内容は当市を訪れる、花の見学者に対して花のまちを案内するとともに、花のまちづくりを広く紹介することです。あくまでも営利を目的としない視察、団体の対応でありツアー等は対応していない。

課題は花ガイド、ガーデナー共に高齢化により引退し、担い手が減少していることとコロナ禍により現場経験が少なくなってしまったことである。しかし、「はなふる」ができ、緑化フェア開催を契機に「はなふるガイド」（7つのガーデンを案内）が設置され、新しい人が参加するようになってきた。

### ○花の街並み推進事業の助成改正、変化や効果

花の街並み推進事業は、道路や公園などに植栽する際に、花苗代やプランター代等に最大1/2（上限40万）助成される事業です。この事業は当初、前年の10月に申請するものでしたので、町内会や各団体では予算が作成される前に提出しなければならなかったため、申請者内部での調整に手間がかかっていました。このことから、多くの申請者から改善して欲しいとの声が多かったため、新年度の4月から申請可能に改正した。

申請が4月からになったことから、事前調整が省かれ、さらに建設部で実施している「恵庭市街路植樹・植樹帯管理事業」（草刈や除草での助成金）の申請も同時期のため併せて提出できることが可能になった。このことから、申請者にとって利便性向上の効果があったものと思われる。

## 5-3 所感

恵庭市は千歳空港からも近く、ゴルフ場の関係で馴染みのあるまちでありましたが、熱心に「花」に取り組まれていることは全くもって知り得ていませんでした。

今回、道の駅を視察させていただいたのですが、現場視察では、夏の暑い時期、公園内ではセンター部に浅い水遊び場もあり、園内道路といい、何となく小野市の「ひまわりの丘公園」を連想する雰囲気を感じました。

道の駅の視察先選定で恵庭市を選んだ理由のひとつにホテルとの併設があり、そのホテルも見学させていただき、稼働率も順調で、ひとつの成功事例であったと感じています。

千歳市、恵庭市両市は防衛補助事業のメニューをフルに活用し、報告書に記載するに躊躇

する、ある意味頼もしいお言葉もお聞きしました。規模は違うものの自衛隊と共存する小野市、全国的に人口が減少傾向にありながら、自衛隊員の募集は絶やすことなく行われており、今後も各地から青野原駐屯地へ配備された隊員、また家族を温かく迎えることのできる住んでみたい小野市を築きたいものです。

結びの御報告として、公務の途中に視察現場までお越しいただき、歓迎の御挨拶もいただいた原田裕市長には感謝をしています。

#### ○恵庭市・関係各位からの紹介でその他現地視察先

えこりん村（とまとの森） 雪国ならではのファミリーガーデン「りりあ」

令和5年8月24日

小野市議会議長 山本悟朗 様

派遣議員  
川名善三

## 議員派遣報告書

先般、実施しました 議員派遣（行政視察）の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣日 令和5年8月8日（火）～令和5年8月10日（木）

### 2 派遣議員

前田光教・小林千津子・河島三奈・宮脇健一・山本麻貴子・村本洋子・川名善三

### 3 視察先及び調査内容

- (1) 北海道千歳市（人口：約9万7千人、面積：594.50K㎡）  
基地対策（連携）について
- (2) 北海道富良野市（人口：約1万9千人、面積：600.71K㎡）  
観光施策について
- (3) 北海道恵庭市（人口：約7万人、面積：294.65K㎡）  
「花ロードえにわ」について



## 4 調査結果

### 【第1日】

#### 北海道千歳市

人口：約9万7千人、面積：594.50Km<sup>2</sup>

#### ≪視察項目≫

基地対策（連携）について

#### ≪視察内容≫

##### (1) 千歳市の概要

国立公園支笏湖などの観光資源と「北海道の空の玄関」と言われている新千歳空港があり自然環境や交通アクセスに恵まれた都市。市内には、陸上自衛隊東千歳駐屯地、北千歳駐屯地、航空自衛隊千歳基地の3つの防衛施設や演習場が所在し自衛隊員数は約9,200人となっており、市内に居住する自衛隊員とその家族で、人口の約25%を占め、千歳市の平均年齢は44.3歳（令和2年国勢調査）で、北海道一若い街となっている。また、輸送ネットワークが整備されていることから、11の工業団地に270社超の企業が立地し、令和5年2月には、半導体メーカーであるラピダス株式会社の進出が決まっている。



##### (2) 防衛施設周辺整備事業

###### 【主な補助実績】

- ・第2庁舎建設事業（H29～30）  
事業費：2,025百万円→補助額618百万円
- ・本庁舎改修事業（H30～R元）  
事業費：616百万円→補助額450百万円
- ・防災行政無線デジタル化整備事業（H29～R元年）  
事業費：609百万円→補助額457百万円
- ・第3埋立処分地嵩上げ事業（R元～3）  
事業費：304百万円、補助額152百万円

## [令和4年度 防衛施設周辺整備事業補助実績]

### ① 環境整備法3条関係

自衛隊等の特定の行為（航空機による訓練、射撃訓練、戦車等による訓練）による障害を防止・軽減するために道路、共同受信施設などの特定の施設に必要な工事、学校等の防音工事に対し国（防衛省）からの補助

- ・障害防止（TV電波）→共同受信施設整備
- ・道路改修→※C経路（通称）舗装補修  
※千歳市道祝梅根志越線他3路線及び国道337号からなる延長約10キロメートルの公道。陸上自衛隊東千歳駐屯地と北海道大演習場（千歳地区）を結ぶ装軌車（戦車等）の通行経路
- ・騒音防止→小中学校防音機能復旧及び防音事業関連維持事業（小中学校・認定こども園）

### ② 環境整備法第8条関係

防衛施設の設置または運用により、その周辺地域の住民の生活または事業活動が阻害される場合、その障害の緩和のために整備する施設等について、国（防衛省）からの補助

- ・民生安定→消防総合庁舎大規模改修・駒里柏台線外1路線舗装補修・避難用施設整備（車両、待避所）

## [令和4年度 調整交付金事業実績]

防衛省が設置・管理する「千歳飛行場」は国から特定防衛施設として指定を受けている。このため、市は国（防衛省）から公共施設の整備や生活環境の改善などの事業費用として、特定防衛施設周辺整備調整交付金（調整交付金）が交付

### 【交通施設】

道路舗装補修／街路灯整備／公共駐車場改修

### 【スポーツ及びレクリエーション施設】

公園整備／市営・学校プール設備更新／テニスコート改修

### 【環境衛生施設】

葬祭場改修／環境保全測定器整備／計量施設整備

### 【教育文化施設】

中学校ピアノ／小中学校改修／小学校遊具改修／市民文化センター改修

学校給食調理機器／図書館設備改修

### 【医療施設】

AED整備

### 【社会福祉施設】

在宅福祉総合センター施設修繕／児童館改修

### 【産業の振興に寄与する施設】

牧場機械整備（トラクター）／牧場施設改修



【住民の生活の安全に関する事業】

防犯灯 LED 化促進事業（町内会への間接補助）、街路灯 LED 化整備

【防災に関する事業】

緊急通信指令施設整備

〔令和4年度 再編関連訓練移転等交付金実績〕

米軍再編に係る訓練移転等の実施による影響の程度を考慮し、住民の生活の安定に寄与に必要な措置を講じるため、「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」に基づく再編交付金に代わり、国（防衛省）が平成29年度から10年間の措置として新たに創設された交付金。とりわけ騒音が大きい地区における生活道路の改修・舗装、公園の整備・遊具更新などの事業へ活用。

【防災に関する事業】

救急備品／消防用ホース整備／空気ボンベ更新／消防備品整備／防災ハンドブック作成／自主防災組織育成

【福祉の増進及び医療の確保に関する事業】

高度医療機器等整備／乳幼児健康診査用備品／福祉総合センター備品更新及び改修

【教育・スポーツ及び文化の振興に関する事業】

コミュニティセンター備品整備

【環境の保全に関する事業】

塵芥収集運搬業務

【交通の発達及び改善に関する事業】

市道整備

【公園及び緑地の整備に関する事業】

市内公園整備

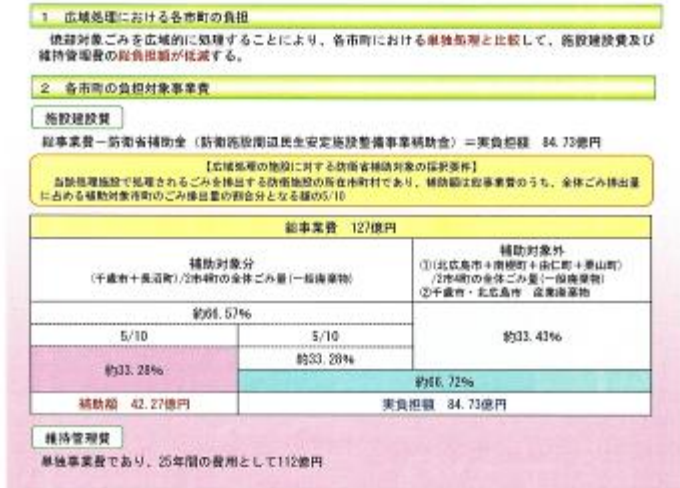


(3) その他

〔道央廃棄物処理組合〕

千歳市、北広島市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町の2市4町は、それぞれの方法により焼却対象ごみを処理しているが、環境負荷の低減や経済的負担の縮減を目的として、令和6年度からの新たな焼却施設による共同処理に向けた取組を進めている。焼却施設の建設については、防衛省からの補助金（防衛施設周辺整備事業）を活用。





※構成市の内、千歳市と長沼町に防衛

施設が所在するため、補助対象となる。

[ラピダス株式会社の進出]

国内主要企業が出資し次世代半導体の量産を目指すラピダス株式会社。工場が稼働する千歳市周辺には、工場従業員をはじめ国内外から研究者や技術者が集結することが見込まれている。



ラピダス株式会社の建設用地（新千歳空港に隣接する工業団地「千歳美々ワールド」）



《所感》

陸上自衛隊東千歳駐屯地、北千歳駐屯地、航空自衛隊千歳基地の3か所の防衛施設及び演習場が所在していることから、防衛関係の補助金、交付金も比較的多額で、その活用方法も多彩、多方面に渡り、基地所在にかかる市民生活の不利益を極力軽減するべく工夫されおり、その範囲がごみ処理施設の建設まで及ぶなど、当局の努力が感じられた。

## 【第2日】

北海道富良野市

人口：約1万9千人、面積：600.71Km<sup>2</sup>

### ≪視察項目≫

観光施策「複合施設コンシェルジュフラノ」について

### ≪視察内容≫

#### (1) 富良野市の概要

北海道のほぼ中央にあり、富良野盆地の中心都市になっている。テレビドラマ『北の国から』の反響によって多くの旅行者が訪れるようになり、周辺地域を含めて北海道を代表する観光地となっている。富良野市を含む6市町村（富良野市・中富良野町・上富良野町・南富良野町・美瑛町・占冠村）で「富良野・美瑛観光圏」を形成。

#### (一社) ふらの観光協会

平成6年度：「富良野・美瑛広域観光推進協議会」を設立（事務局：富良野商工観光課）

平成25年度：国の観光圏整備計画の認定

平成29年度：(一社) ふらの観光協会が地域連携DMOとして登録

#### 複合施設「コンシェルジュ フラノ」

建物は平成28年3月に撤退した旧三番館ふらの店の空き店舗ビルを経済産業省の補助事業を活用し再生。地下1階、地上3階建ての戦略的複合施設となっている。

1階→観光インフォメーションとガイド機能を主体に、インバウンド向けスーベニアショップ&プチコンビニ、富良野の食材にこだわった農村レストラン

2階→市商工観光課、商工会議所、観光協会などのシェアオフィス

3階→ドミトリー形式と個室からなる簡易宿泊施設など

4階→コミュニティFMなど





【1階インフォメーション】



【2階商工観光課・商工会議所他】

【3階簡易宿泊所・HOSTEL TOMAR(ホステルトマール)】



### 《所 感》

当該施設は富良野市の中心市街地に所在するものの、店舗としては困難であることから、複合施設として再整備したもので、商工会議所や市の観光課が入居するなど、観光戦略の中心として機能している。テレビドラマ「北の国から」のロケ地として、全国的にも知名度が高く、自然も豊かで観光資源にも恵まれているが、コロナ禍によるダメージを被ったことから、早期の立ち直りの目指し懸命な努力が伺われた。

### 【第3日】

北海道恵庭市

人口：約7万人、面積：294.65K㎡

#### ≪視察項目≫

恵庭市の概要

札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置し、恵まれた交通アクセスと穏やかな気候風土を持ち、公共下水道や大学・専門学校、工業団地などの都市基盤の整備が進み人口増が図られている。市内には8カ所の工業団地があり、約270社が操業中。また、恵庭溪谷では、「白扇の滝」や「ラルマナイの滝」などが、市の観光スポットとして知られ、最近では市民主導による花のまちづくりが盛んで「ガーデニングのまち」を推進している。また、市内には陸上自衛隊北恵庭・南恵庭・島松の3駐屯地が所在する。



#### [道と川の駅「花ロードえにわ」について]

市内を流れる漁川と一日の通行量が3万台以上となる国道36号線交差するエリアに観光と交流拠点として平成17年にオープン。令和2年より農産物直売所「かのな」などの複数の施設を含む総合拠点として「花の拠点 はなふる」として全体をリニューアルしたもの。

#### 【施設全体図】



センターハウスは、元の保健センターを利用したもので、観光案内所や車中泊が利用できるRVパークを併設、2階は子ども達の遊び場として児童館的な施設となっている。

道と川の駅 花ロードえにわ  
FLOWER ROAD ENIWA



食を中心に恵庭の魅力が満載!

年間の100万人が来場する人気スポットです。地元ならではの特産品コーナーをはじめ、恵庭産の食材をふんだんに使ったレストランや、焼きたてのパンが楽しめるベーカリー、香り漂う露天スタンド、おしゃれなコスメ雑貨店が訪れる人をお迎えします。若者男女に楽しんでもらえるラインナップです。

ガーデンエリア  
GARDEN AREA



農畜産物直売所 かのな  
KANONA



地元や近隣の新鮮野菜が集結!

スターバックス コーヒー はなふる恵庭店  
STARBUCKS COFFEE



アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒー専門店です。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバリエーション豊かなドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。また、ご家庭でもお楽しみいただけるようコーヒー豆やコーヒー抽出器具、マグカップなどのオリジナル商品も多数販売しています。



RV パーク花ロードえにわ  
花と緑の中でゆったりと過ごす  
アウトドアパークが自然と癒やされる人が安心して滞在できる施設です。設備も充実したRVパーク。設備も充実したRVパーク。設備も充実したRVパーク。



無料シャワールーム



コインランドリー



キッチン(談話スペース)

フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわ  
FAIRFIELD BY MARRIOTT HOKKAIDO ENIWA



充実した時間をご満喫いただける便利なホテル

[運営形態]

全体の管理業務は指定管理者制度を導入しているが、花ロードえにわ、農産物直売所かのな、スターバックス、ホテル（フェアフィールド・バイ・マリオット）については、都市公園法に基づく管理許可制度（市に使用料を納め、民間管理者が運営）により運営。許可期間は例外的に20年としており、民間企業の進出を促進するものとなっている。

《所 感》

「花の拠点 はなふる」内のこれらの建物においては、運営がほぼ民営化されており行政の負担はない。はなふる内に立地するこのホテルは、市内周遊を促進するため、ホテルにはレストランを設けておらず、飲食は周辺の飲食店の利用を勧めると共に、市内への片道タクシーチケットを配布するなどの便宜を図っているなど、既存の施設とは異なり独特の運営がされている。道の駅の新しい運営方式として注目したい。また、恵庭市においても防衛施設が所在しており、この施設整備においても補助金等を活用したとのことであった。（本報告書の作成については、先方よりの資料及びh p等と参考資料とした。）



様式第4号（第9条関係）

令和 5年 8月22日

小野市議会議長 山本悟朗 様

派遣議員 村本 洋子

## 議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

### 記

#### 1 派 遣 日

令和5年8月8日（火）から令和5年8月10日（木）まで

#### 2 派遣議員

山本麻貴子議員、宮脇健一議員、村本洋子議員、河島三奈議員、  
前田光教議員、小林千津子議員、川名善三議員

#### 3 派 遣 先

- ① 北海道千歳市 基地対策（連携）について
- ② 北海道富良野市 観光施策について
- ③ 北海道恵庭市 花ロードえにわについて

#### 4 内 容

第1日 北海道千歳市（人口 96,965人 面積594.50km<sup>2</sup>）  
基地対策（連携）について

##### 【千歳市の特徴】

- 美しい水と豊かな緑 支笏湖、千歳川
- 北海道で一番若いまち 平均年齢44.3歳（令和2年国勢調査）
- 世界に開かれた国際都市 令和元年新千歳空港  
乗降客数約2,459万人（国内線2,073万人 国際線386万人）
- 最先端企業が集まる工業都市 11工業団地に270社超の立地企業  
ラピダス（株）の立地決定
- ユネスコ世界遺産 国指定史跡キウス周堤墓群（令和3年登録）



(事業費609,656千円、補助金額457,242千円)

- 第3埋立処分地嵩上げ事業 (R元～R3)

(事業費304,120千円、補助金額152,059千円)

令和4年度防衛施設周辺整備事業

防衛省所管補助金 1,447,081千円

[環境整備法第3条関係]

- 障害防止 共同受信施設設置
- 道路改修 C経路舗装補修
- 騒音防止 小中学校防音機能復旧  
防音事業関連維持事業 小中学校・認定こども園

[環境整備法第8条関係]

- 民生安定 消防総合庁舎大規模改修  
駒里柏台線外1路線舗装補修  
避難用施設整備(車両、待避所)

令和4年度調整交付金(環境整備法第9条)事業実績

- 交通施設 道路舗装補修  
街路灯整備  
公共駐車場改修
- スポーツ及びレクリエーション施設  
公園整備  
市営・学校プール設備更新  
テニスコート改修
- 環境衛生施設  
葬祭場改修  
環境保全測定機器整備  
計量施設整備
- 教育文化施設  
中学校ピアノ  
小中学校改修  
小学校遊具改修  
市民文化センター改修  
学校給食用調理機器  
図書設備改修
- 医療施設 AED(自動体外式除細動器)整備
- 社会福祉施設  
在宅福祉総合センター施設修繕

### 児童館改修

- 産業の振興に寄与する施設  
牧場機械整備（トラクター）  
牧場施設改修
- 住民の生活の安全に関する事業  
防犯灯LED化促進事業（町内会の関節補助）  
街路灯LED化整備
- 防災に関する事業  
緊急通信指令施設整備

### 令和4年度再編関連訓練移転交付金実績

- 防災に関する事業  
救急備品／消防用ホース整備／空気ボンベ更新／  
消防備品等整備／防災ハンドブック作成／自主防災組織育成
- 福祉の増進及び医療の確保に関する事業  
高度医療機器整備  
乳幼児健康診査用備品  
総合福祉センター設備更新及び改修
- 教育・スポーツ及び文化の振興に関する事業  
コミュニティセンター備品整備
- 環境の保全に関する事業  
塵芥集運搬業務
- 交通の発達及び改善に関する事業  
市道整備
- 公園及び緑地の整備に関する事業  
市内公園整備



## 5 所 感

千歳市には陸上自衛隊東千歳駐屯地、北千歳駐屯地、航空自衛隊千歳基地をはじめ、演習場、飛行場など多くの防衛施設があります。

航空機騒音など諸障害を防止・緩和するために補助事業が実施されています。小野市とは規模が大きく違いますが、補助金や交付金事業の実績を多く聞くことができ、補助金だけでなく、メニューの多さにも驚きました。積極的に要望活動を行っており、大変参考になりました。

千歳市では、各部隊に配属されている自衛隊員とその家族、OBを含めると人口の約3割を占めています。町内会活動やスポーツ・文化活動などを通して、市民生活と大き

な関わり合いを持っています。

駐屯地の周辺地域だけでなく、もっと市民と自衛隊の交流が進み、退官後も小野市で生活したいと思われるように再就職や住居などの支援が必要だと思いました。

第2日 北海道富良野市 (人口 19,923人 面積 600・71km<sup>2</sup>)

観光施策について

### 1. 富良野市の紹介

北海道の中央に位置することから観光と商業の振興から始まった市民手作りの「北海へそ祭」や経済の活性化を目指し基幹産業の農業と観光を結び付けた「ワイン」「チーズ」の製造、過去10回のFISワールドカップスキー大会開催の実績を誇る国際的なスキー場を有するなど、「へそとスキーとワインのまち」として市民ぐるみのまちづくりに取り組んでいる。

### 2. ふらの版DMO

DMO (DMC) 観光・消費額の最大化  
着地型商品、太客の手配旅行  
旅中ふるさと納税  
行政 地元調整率の増  
持続可能な観光地域コーディネーター  
ふらの観光協会  
宿泊延数の最大化をめざす  
MICE, フィルムコミッション  
団体旅行誘致  
観光地域プロモーション



リピートを増やす  
ふらのFANを増やす

### 3. コンシェルジュフラノの紹介

観光に関係する、富良野市商工観光課、ふらの観光協会、富良野商工会議所を一つのビルに集約、DMOを担う候補法人が1Fでツアーデスクを設置し、着地型旅行商品を企画・販売する。3Fには簡易宿泊施設「ホステルトマール」があり、共通のラウンジや2Fにシェアキッチンを配備。

4. 富良野市観光の取り組み状況

課題 リピーターを増やす、富良野FANを増やす、コロナ禍



富良野観光ウェブキャンペーン実行委員会（現在解散）

R3年度からLINEの富良野市アカウントから観光情報プッシュ配信 現在約3万件

へそとワインとスキーのまち

北海へそ祭 1969年 第1回 踊り手11人

1992年 第24回 6,300人 に

ワインのまち 50年の歴史 「木樽」にこだわったワイン造り

スキーのまち 良質な雪と育む富良野盆地

積もった雪が変化しにくくパウダースノーが長持ちする

5. 富良野観光協会への支援について

（一社）ふらの観光協会 令和4年度決算  
（3会計結合）

・収入の部

会費 8,340  
事業収益 74,170  
受託事業 15,000  
補助金等 5,351  
負担金 1,985  
雑収入 1,859  
合計 106,705

・支出の部

人件費 49,176  
諸経費 44,801  
租税公課 5,366  
減価償却費 358  
合計 99,701

・市の支援

観光インフォメーションセンター  
業務委託料 15,000  
ふらの観光協会補助金 4,166

※観光協会の決算には出てこない  
スノーファンタジー推進協議会補助金 5,000

5 所 感

商業施設をリノベーションしたコンシェルジュフラノで研修させていただきました。へそとスキーとワインのまちの富良野市は日本のへその西脇市と協定を結び、市民同士の交流・親善を進めているようで、親しみを感じました。

また、サステイナブルなまちづくりを目指して、ごみの減量と資源のリサイクルに取り組まれ、20年以上前から14種分別収集をされているとお聞きしました。リサイクル率も90%以上で、生ごみは堆肥にされているそうです。市民の皆さまの分別のご協力と理解を得られ取り組みされていることに感動しました。

「北の国から」のグッズ販売や入場料などの事業収入がピーク時に比べると減ってはいるものの、施設の整備費用を賄える収入があるとお聞きし、驚きました。やはり、観光の目玉があると、強みになると感じました。

また、観光に対する職員の方や、関係者の熱い思いや行動力に感動しました。現地視察の醍醐味を感じ、これからの小野市の観光やまちづくりの参考にしていきたいと思います。



### 第3日 北海道恵庭市（人口 70,069人 面積294・65km<sup>2</sup>）

#### 花ロードえにわについて

##### 1. 「道と川の駅」の基本コンセプトについて

恵庭を流れ、サケの遡上も見られる漁川と1日3万台以上の交通量がある国道36号線沿いが交差するエリアに、観光との交流の拠点とすることを目的に平成17年にオープン。

その後、現在の花の拠点（はなふる）を整備するにあたり、花の拠点の玄関口に位置する重要な施設として位置づけられた。

花の拠点のインフォメーション機能や休憩場所に加え、レストラン・売店機能も備えた複合施設として多くの人々が訪れている。

##### 2. 運営形態について

花の拠点全体の管理運営は指定管理制度を導入

花ロードえにわ、農畜産物直売所「かのな」、スターバックスやホテル等については、都市公園法による管理許可制度により運営。

##### 3. 1年を通しての花の拠点「はなふる」としての花の選択について

7つのテーマガーデンには、設計ガーデナーごとに様々な花が植えられており、ガーデナーと意見交換しながら維持管理をおこなっており、春から秋まで長く楽しめる植物も多く取り入れている。

##### 4. 市内観光促進のための道の駅を中心とした戦略について

観光スタイルは長年通過型であり、「花ロードえにわ」への入込数は100万人程度で安定していたが、滞在時間が短く、観光客の市内消費促進が課題であった。滞在型の観光スタイルへの転換を目指して、宿泊施設やファミリー層が利用できる子ども向け遊技場、ガーデンエリアやカフェ機能を備えた新たな観光拠点として整備。市内周遊促

進、消費拡大事業の一つとして、マリオネットでのタクシー利用券配布事業が想定を大幅に超える利用がある。

#### 5. 市内、道外からの「花ロードえにわ」への来場者実績（割合）

令和4年実績では、市外来場者が8割程度うち1割が道外  
ガーデンフェスタ北海道2022の開催により、道外来場者数は増加傾向にある。

#### 6. 「フェアフィールド・バイ・マリオネット・北海道えにわ」設置の経緯と連携について

通過型から滞在型の観光スタイルへ転換を目指す中で必要な宿泊施設の誘致を検討していたところ、積水ハウス（株）が実施している「Trip Base道の駅プロジェクト」の存在を知り、公募を実施。令和4年5月26日に開業以来、各種イベントの協力・協賛や、デジタル観光マップの作成、タクシー利用券事業による宿泊者の市内周遊促進と消費拡大など様々な面で連携しながら、花の拠点を中心とした市内観光の推進に取り組んでいる。

#### 関連する質問について

##### ①オープンガーデンと市民ボランティア花ガイドの内容、効果、問題点について

1991年に恵み野フラワーガーデンコンテストが行われ、徐々に全国的に「花のまち」と知られるようになり、見学・視察が増えたことから、平成17年に恵庭市民花ガイドが発足。訪れる花の見学者に対して花のまちを案内するとともに、花のまちづくりを広く紹介する。営利を目的としない視察、団体の対応。課題は花ガイド、ガーデナーの高齢化、担い手不足。はなふるができ、緑化フェア開催を契機に「はなふるガイド」が設置され、新しい人が参加するようになった。

##### ②花の街並み推進事業の助成改正で、どのような変化や効果があったか。

道路や公園などに植栽する際に、花苗代やプランター代などに最大1/2（上限40万）助成される事業。当初前年の10月に申請するものだったが、町内会や各団体の予算が作成されるまえに提出するものを新年度の4月から申請可能に改正。

申請者にとって利便性向上の効果があった。



## 5 所 感

道と川の駅の「はなふるセンターハウス」で研修させていただきました。この会場には、1階に総合案内や恵庭観光案内所、キャンピングカーなどの車中泊専用駐車場も完備されています。2階にはこどもの遊び場「りりあ」や無料の休憩室があり、たくさん



のお子様連れで賑わっていました。子育てにも優しいまちづくりをされていて、人口が増えている理由なのかなと思いました。原田市長、長谷議長には大変お忙しい中お世話になり、ご対応いただいたこと感謝しております。

恵庭市の通過型から、滞在型への観光スタイルへの転換を目指しての取り組みは、小野市の課題でもあり、とても参考になりました。また、美しい田園風景や花と緑あふれるまちも小野市と共通するところが多くありました。ガーデンシティえにわの道の駅や花のまちをぜひ参考にして、これからの小野市流の道の駅やまちづくりに取り組んでいきたいと思いました。

えこりん村の「とまとの森」も見学させていただきました。水耕栽培であるように大きくたくさんの実をつけているのを目の当たりにして、本当に感動しました。



令和5年8月24日

小野市議会議長 山本 悟朗 様

派遣議員  
宮脇 健一

## 議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣（行政視察）の結果について、下記のとおり報告いたします。

### 記

**1 派遣日** 令和5年8月8日（火）～令和5年8月10日（木）

**2 派遣議員**

河島三奈議員・前田光教議員・小林千津子議員・川名善三議員・村本洋子議員  
山本麻貴子議員・宮脇健一

**3 派遣先及び調査内容**

(1) 北海道千歳市（人口：約9万8千人、面積：約594Km<sup>2</sup>）

**基地対策（連携）について**

千歳市は駐屯地との連携により、防災センター「そなえ〜る」や小学校の防音設備等、基地との連携を図っており、今後小野市での駐屯地との連携を研究するため。

(2) 北海道富良野市（人口：約1万9千人、面積：約600Km<sup>2</sup>）

**観光施策について**

富良野市は、富良野地域一体が観光地として存在しており、広域的な取組み、民間活力についても可能な限り調査を行い、今後の小野市施策に向けた研究のため。

(3) 北海道恵庭市（人口：約7万人、面積：約294Km<sup>2</sup>）

**花ロードえにわについて**

道と川の駅、花ロードえにわ、道の駅に隣接ホテルを招致など、先進的な取り組みを実践されている恵庭市を調査し、今後の小野市施策に向けた研究のため。

## 4 調査結果

### 【第1日】

北海道千歳市

人口：約9万8千人、面積：約594Km<sup>2</sup>

### ≪視察項目≫

#### 基地対策（連携）について

千歳市は駐屯地との連携により、防災センター「そなえ〜る」や小学校の防音設備等、基地との連携を図っており、今後小野市での駐屯地との連携を研究するため。

### ≪視察内容≫



千歳市は、北海道の中南部・石狩平野の南端に位置し、市域は東西に細長く西高東低の地形となっている。西部には支笏湖と樽前山・恵庭岳や森林からなる、国立公園支笏湖地区に指定されている。市域の中央部はほぼ平坦で、市街地を初め工業団地、飛行場、農用地、防衛施設として利用。東部は丘陵地帯で、農作や酪農を中心とする農林業として活用している。

#### 1. 防衛施設と自衛隊員数

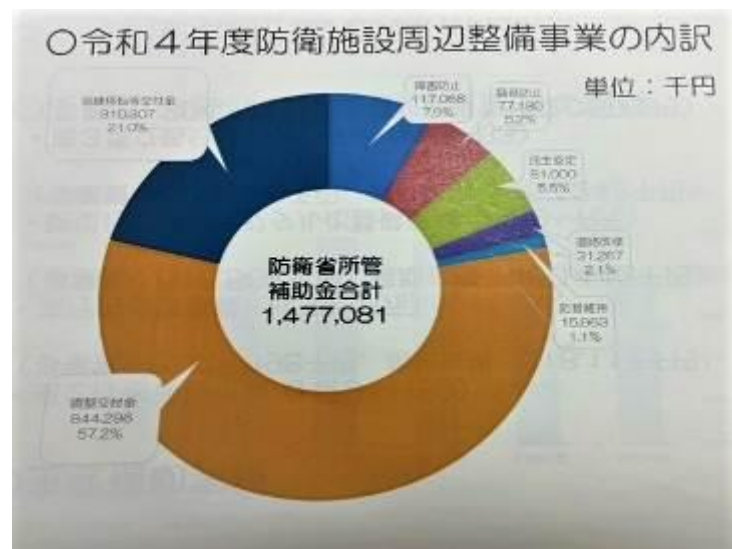
千歳市には陸上自衛隊東千歳駐屯地、北千歳駐屯地、航空自衛隊千歳基地のほか、防衛装備庁の千歳試験場や北海道大演習場が所在。これらの防衛施設は市街地に隣接、至近な距離に位置しており、全体面積は4,897haと行政区域の8.2%を占める。



千歳市内の自衛隊員数については約 9,200 人であり、市内人口の約 9.6%（東千歳：約 5.1%、北千歳：約 2.0%、千歳基地：約 2.5%）を占めている。また、隊員等の家族を含めると約 4 分の 1 は自衛隊関係者となっている。

## 2. 防衛施設周辺整備事業の実績と内訳

- ・ 障害防止：共同受信施設の設置
- ・ 道路改修：C 経路の舗装補修
- ・ 騒音防止：小学校防音機能の復旧、小中学校・認定こども園の防音維持事業
- ・ 民生安定：消防総合庁舎の大規模改修、避難用施設整備 等
- ・ 調整交付金：街路灯整備、図書館改修、AED 整備、牧場施設改修 等
- ・ 訓練移転等交付金：消防用ホース・備品整備、高度医療機器等整備 等



## 3. C 経路

陸上自衛隊東千歳駐屯地と北海道大演習場を結ぶ市道及び一般国道からなる約 10 km の公道。一般車通行の他、戦車等の装軌車を含む自衛隊車両が走行している。



C 経路内には、千歳市防災学習交流センター「そなえ〜る」があり、防災学習交流活動や、住民の防災意識の高揚を目的とした自主防災組織づくりのための活用を利用方針としている。施設概要としては、千歳市防災学習センター、防災訓練広場やヘリポート、消火・救出体験広場等を備えている。

## 《所 感》

千歳市は駐屯地との連携により、防災センター「そなえ〜る」や小学校の防音設備等、基地との連携を図っている。市民と自衛隊との交流も活発に行っており、師団創設・駐屯地創立記念での交流や、千歳基地航空祭などがある。また、JAL 国際マラソンの給水係を担当することでより近い存在として認識されていると感じた。戦闘機の離着陸による騒音問題に対しては防音工事の助成も行っており、市民と真摯に向き合う姿勢が重要だと改めて感じた。

小野市においても陸上自衛隊青野原駐屯地がある。規模こそ違うかもしれないが、考え方は同じであり、今後も連携を強化していく必要があると考える。



## 【第2日】

北海道富良野市

人口：約1万9千人、面積：約600Km<sup>2</sup>

## 《視察項目》

### 観光施策について

富良野市は、富良野地域一体が観光地として存在しており、広域的な取り組み、民間活力についても可能な限り調査を行い、今後の小野市施策に向けた研究のため。

## 《視察内容》



富良野市は盆地に位置しており、夏は暑く、冬は寒い。また1日の中でも昼夜の気温差が大きいという特徴がある。これは盆地が山に囲まれているため、夏は涼しい風が入りにくく、あたためられた空気が外へ逃げにくいこと、冬は冷たい空気が下にたまりやすくなる。フェーン現象も起こりやすく、湿った空気が届いても山を越えるまでに雨が降ってしまい、降水量が少ないのも特徴。

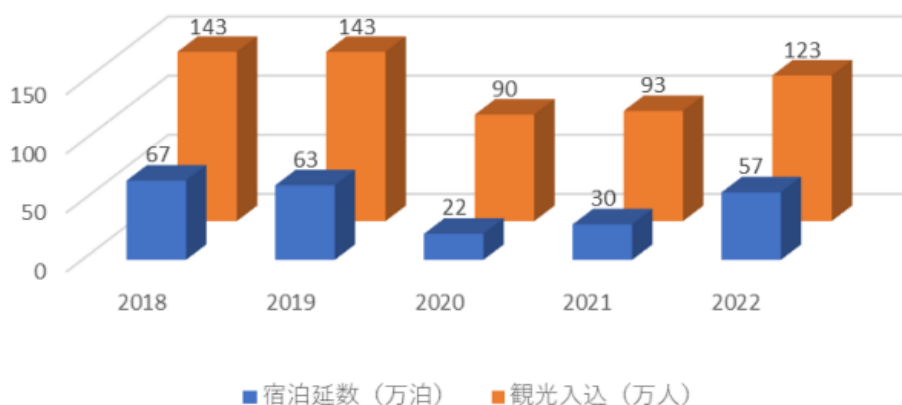
- ・昼夜の温度差が生み出す、農産物の甘さ

特に昼夜温度の差は強く働き、夜温が低いほうが糖度は上がる傾向にあります。夏の終わりから初秋にかけて昼夜温の差は大きくなりますので果物にとっては都合のよい時期です。その主な理由は昼間にせっせと貯めこんだ糖類は呼吸で常に消費されるからです。呼吸は夜も昼も行いますが、糖を作る光合成は昼間だけです。呼吸は温度が高ければ盛んですから、夜に温度が低くなれば呼吸も低く、それだけ貯めこんだ糖の消費が少なくなるからです。

(一般社団法人日本植物生理学会 WEB サイトより引用)



富良野市の観光入込と宿泊延数の推移



- (1) 富良野美瑛広域観光の推進と、地域連携 DMO・  
富良野・美瑛広域観光推進協議会の設立  
(平成 6 年度～、事務局 富良野市商工観光課)



富良野・美瑛観光圏整備計画を国が認定 (平成 25 年度～)

- ・平成 20 年に観光圏整備法が施行
- ・平成 25 年度に観光圏整備計画を国が認定
- ・平成 25 年度から 29 年度までの 5 年間で、観光地域ブランド確立支援事業補助金の支援を受け、観光地整備
- ・平成 30 年度から令和 4 年度までの 5 年間の計画認定を受ける



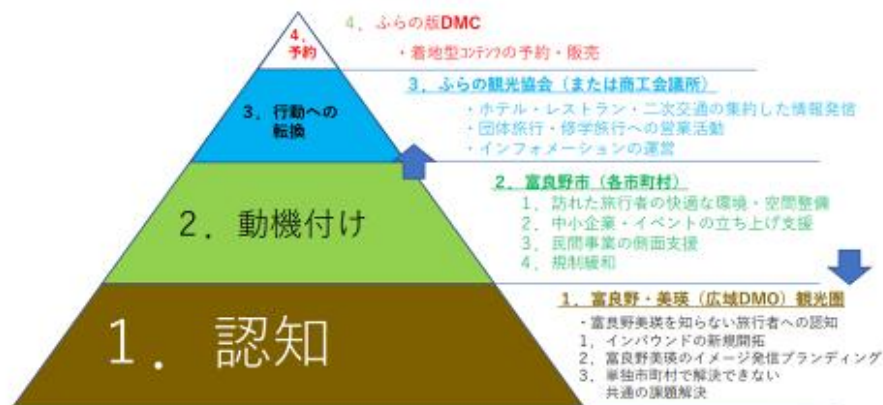
地域連携 DMO の候補法人として登録 (平成 29 年度～)

- ・平成 29 年度に (一社) ふらの観光協会が、地域連携 DMO の候補法人として、登録

地域連携DMO×市町村×ふらの版DMCとの役割分担



どうやって、誘客し、稼ぐか？  
顧客を中心とした「富良野・美瑛」のブランディングイメージ



## (2) DMO の検討

### ・課題の整理

富良野市 (商工観光課)

- ・市役所組織的に、観光に長く人材を配置することができない (3～5 年で人事異動)
- ・基本的に商行為に携わることは NG (出向する場合を除く)
- ・基本的にビジネスマインドが薄い

### コロナ対策

- ・富良野観光ウェブキャンペーン実行委員会の設置 (事務局：富良野市商工観光課) ・ コロナ対策予算で、誘客キャンペーン、各種インセンティブ付与など企画 (民間資金は、各事業者生き残りに活用、誘客を行政資金によって行う)

(一社) ふらの観光協会

- ・ 「北の国から」 ロケ施設の入場料収入が、ピーク時対比半減
- ・ 職員減少
- ・ 職員高齢化

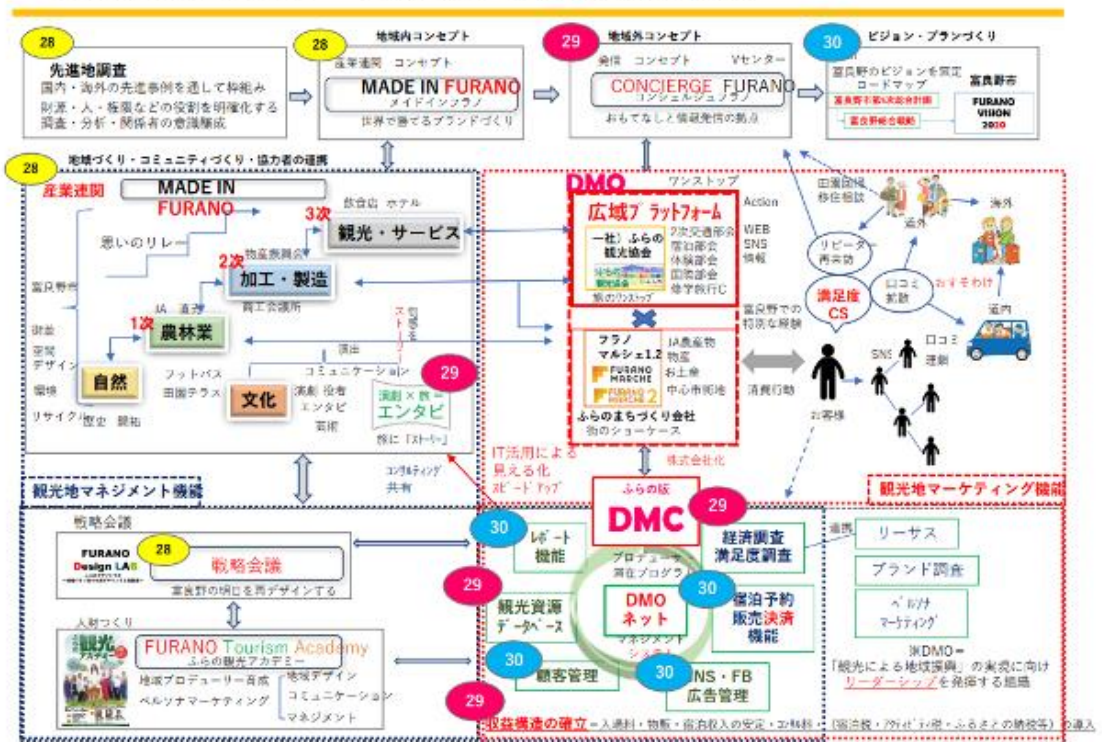
富良野商工会議所／ふらのまちづくり(株)

- ・ 観光専門人材がいない

共通課題

- ・ コロナ発生、宿泊半減 (65 万泊⇒30 万泊)
- ・ 教育旅行の減 (ピーク 10 万泊⇒3 万泊)
- ・ コロナ発生、団体旅行の復活見込み薄
- ・ インバウンド 2019 年水準復活は 2026 年か
- ・ 観光庁の補助金が採択されづらい (DMO があつた方が有利)

コンシェルジュフラノ プロジェクト3カ年計画と概念図



(3) 富良野市観光の取組状況

課題～リピーターを増やす、富良野FANを増やす  
 コロナ禍→富良野観光ウェブキャンペーン実行委員会 (現在解散)



### アンケートご回答方法

- QRコードをスマートフォンで読み込むと、メールが立ち上がりお好みの空メールを送信してください。  
 QRコードを読み込みがない場合は、furanowari@ff-furano.com宛てにタイトル・本文無しでメールをお送りください。
- 自動返信メールが届きますので、本文内のURLからアンケートフォームにアクセスしてください。  
 迷惑メール対策を行っている場合は @ff-furano.com のメールを受信できる設定にしてください。
- アンケートにご回答いただく番番に「ふらの割クーポンプレゼント」と表示されます。その番番が、スクリーンショットの画像をお泊まりの宿泊施設フロントにお見せいただくと「ふらの割クーポン券」をお渡しいたします。

【ご注意】「ふらの割クーポンプレゼント」の番番は同じと再表示できませんので、ご確認いただく前に番番を確認し、スクリーンショットで画像保存してください。





令和3年度からLINEの富良野市アカウントから観光情報プッシュ配信



左が富良野市民向け、右がふらのFAN向け



《所 感》

富良野市は、富良野地域一体が観光地として存在しており、広域的な取り組み、民間活力を利用しながら観光施策を行っている。へそのまちとしても知られており、毎年7月にへそ祭りが開催され、海外からも多くの観光客が訪れている。また、ワインやスキーなど観光資源の規模がかなり大きいことを実感した。コロナ禍においても数が減っているものの観光客は訪れており、一定数のファンがいることを感じた。

小野市においても富良野市の取り組みを参考に SNS の活用や情報を提供する場を増やしていき、今後民間活力を含む観光資源を発掘していくことが重要だと感じた。



【第3日】

北海道恵庭市

人口：約7万人、面積：約294Km<sup>2</sup>

《視察項目》

花ロードえにわについて

道と川の駅、花ロードえにわ、道の駅に隣接ホテルを招致など、先進的な取り組みを実践されている恵庭市を調査し、今後の小野市施策に向けた研究のため。



## 《視察内容》

### (1) 「花と川の駅」の基本コンセプトについて

道と川の駅花ロードえにわは、恵庭を流れ、サケの遡上も見られる漁川と、1日3万台以上の交通量がある国道36号線沿いが交差するエリアに、観光と交流の拠点とすることを目的にオープン。その後、現在の花の拠点（はなふる）を整備するにあたり、花の拠点の玄関口に位置する重要な施設として位置づけられ、花の拠点のインフォメーション機能や休憩場所に加え、レストラン・売店機能も備えた複合施設として多くの方が訪れている。



### (2) 運営形態について

花の拠点全体の管理運営は、指定管理者制度を導入しているが、花ロードえにわ、農産物直売所かのな、花の拠点魅力向上エリア（スターボックス・おむすびゑびす）、フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわについては、都市公園法による管理許可制度（市に使用料を納め、民間事業者が運営する手法）により運営。また、花の拠点内でキッチンカーの出店やイベントを実施する際は、恵庭市都市公園条例及び花の拠点条例に基づき、行為許可制度（占有するエリアの面積等に応じて使用料を納める）による運用を行っている。行為許可に係る事務はすべて指定管理者業務の中に組み込んでいる。

「りりあ」は、市の花であるすずらんを意味するスウェーデン語が由来。

「かのな」は漢字で「花野菜」と表記することもあり、花と野菜の直売所であることが由来。

### (3) 一年を通して花の拠点「はなふる」としての花の選択について

花の特徴でもある7つのテーマガーデンには、設計ガーデナーごとに様々な花が植えられており、設計後もはなふるのガーデナーと意見交換しながら維持管理を行っており、春から秋まで長く楽しめる植物に多く取り入れている。



### (4) 市内観光促進のための道の駅を中心とした戦略について

恵庭市の観光スタイルは長年「通過型」であり、花ロードえにわへの入込数は100万人程度で安定していたが、滞在時間が短く、観光客の市内消費促進が課題であったことから、「滞在型」の観光スタイルへの転換を目指していた。花の拠点（はなふる）は、花のまち恵庭を体現する施設としての側面の他に、宿泊施設

やファミリー層が利用できる子ども向け遊技場、滞在を促すガーデンエリアやカフェ機能を備えた恵庭市の新たな観光拠点として整備した施設であり、花の拠点を中心とした市内周遊、消費拡大を図っている。市内周遊促進、消費拡大事業の一つとして、マリオットでのタクシー利用券配布事業があり、令和5年度は6月末時点で1,266枚の配布に対し596枚の利用と想定を大幅に超える利用があり、マリオットと市内飲食店の往復利用されている方が多い状況。

(5) 市外、道外からの花ロードえにわへの来場者実績（割合）

令和4年度実績では、市外来場者が8割程度であり、道外来場者はそのうち1割程度。ガーデンフェスタ2022の開催により、道外来場者は増加傾向。

(6) フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわ設置の経緯と連携について

上記(4)のとおり、通過型から滞在型の観光スタイルへ転換を目指す中で必要な宿泊施設の誘致を検討していたところ、積水ハウス(株)が実施している『TripBase 道の駅プロジェクト』の存在を知り、花の拠点の宿泊施設設置に可能性を見いだせたことから、公募を実施し、同社が設置者となる。

令和4年5月26日にフェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわが開業してからは、花の拠点内で行われている各種イベントへの協力・協賛や、上記プロジェクトの一環としてのデジタル観光マップ「はなたびマップ」の作成、タクシー利用券事業による宿泊者の市内周遊促進と消費拡大など、様々な面で連携しながら、花の拠点を中心とした市内観光の推進に取り組んでいる。



《所 感》

恵庭市は道と川の駅、花ロードえにわ、道の駅に隣接ホテルを招致など、先進的な取り組みを実践されている。花という観光資源を活かしながら工夫をされている恵庭市には参考になるところが多くあった。地域一体が観光地として存在しており、広域的な取り組み、民間活力を利用することが重要になると改めて感じた。小野市においても、昨年リニューアルしたひまわりの丘公園では、市外からたくさんの方々が訪れているが、市内周遊を促す仕組みが必要なところである。白雲谷温泉ゆぴかや共進牧場、浄土寺といった観光スポットだけではなく、えこりん村のトマトのような発想を生み出すことが今後必要になると考える。



令和5年8月24日

小野市議会議長 山本 悟朗 様

派遣議員  
山本 麻貴子

## 議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣（行政視察）の結果について、下記のとおり報告いたします。

### 記

**1 派遣日** 令和5年8月8日（火）～令和5年8月10日（木）

**2 派遣議員**

河島 三奈、小林 千津子、前田 光教、川名 善三、村本 洋子  
山本 麻貴子、宮脇 健一

**3 派遣先及び調査内容**

- (1) 北海道千歳市  
千歳市役所 千歳市東雲町2丁目34番地  
基地対策・連携について
- (2) 北海道富良野市  
富良野市 コンシェルジュフラノ  
観光施策について
- (3) 北海道恵庭市  
道と川の駅 センターハウス  
道と川の駅 花ロードえにわについて

**4 調査結果**

**【第1日】**

北海道千歳市

人口：97,950人（令和2年国調） ※今後人口10万人を目指している。

面積：594.50km<sup>2</sup> ※面積の75%が森林や支笏湖など、湖沼が広がる。  
※東京23区より少し小さい

《視察項目》

基地対策（連携）について

《視察内容》



千歳市役所 10:30

企画部次長

企画部基地政策課基地対策係係長

議会事務局総務課調査係

基地政策課基地対策係より説明いただく。



街は中心部から広がり、陸上自衛隊、2駐屯地、航空自衛隊、新千歳空港に囲まれている。 ※PR動画【よりみちとせ】視聴

○人口推移

大正9年（1920年） 5,366人

→令和2年（2020年） 97,950人

○自衛隊員の割合

東千歳駐屯地……………約5,000人

北千歳駐屯地……………約1,700人

航空自衛隊千歳基地…約2,500人

合計約9,200人

※千歳市の人口の約10%を占める。家族を含めると、人口の1/4は自衛隊関係者



○防衛施設の概要

- 青色…東千歳駐屯地、北千歳駐屯地、航空自衛隊千歳基地
  - 黄色…各演習所、航空自衛隊が利用している千歳飛行場
  - 濃オレンジ…民間航空機が利用する新千歳空港
  - 薄オレンジ…キャンプ千歳として米軍への提供施設。
- ※現在、駐留は無い。

## 防衛省所管補助金

防衛省所管補助金のうち57%が調整交付金  
調整交付金（環境整備法第9条）  
実績は多岐にわたる

令和4年度の実績としては・・・

### 【交通施設】

道路舗装補修／街路灯整備／公共駐車場改修

【スポーツ及びレクリエーション施設】 公園整備／市営・学校プール設備更新など

【環境衛生施設】 葬祭場改修など

【教育文化施設】 中学校ピアノ／小中学校改修など

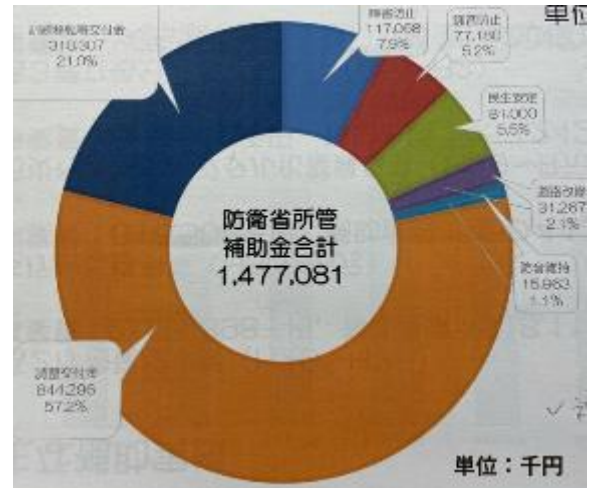
【医療施設】 AED整備

【社会福祉施設】 在宅福祉総合センター施設修繕など

【産業の振興に寄与する施設】 牧場機械整備（トラクター）など

【住民の生活の安全に関する事業】 防犯灯LED化促進事業など

【防災に関する事業】 緊急通信指令施設整備



## C経路まちづくり事業

C経路…東千歳駐屯地と北海道大演習場を結ぶ約10kmの公道。一般自動車が通行するほか、戦車等の装軌車を含む自衛隊車両が自走により移動する道路。

- ・ 防衛省の新たな補助制度の制定 (平成14年度)
- ・ C経路まちづくり事業を実施 (平成17年度)



## 防災学習交流施設『そなえーる』建設

千歳市議会 議場



市役所食堂



千歳美々ワールド 〈建設予定地〉



東千歳駐屯地



道の駅 南ふらの

南ふらの物産センター  
モンベル&フードコート

2022年6月

向かいにホテルがオープン。

フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道南富良野

《所 感》

千歳市は基地があるからこそ今のかたちがある。交付金も補助事業も多く、小野市にとってどの部分が参考になるのかすら分からないぐらい規模が大きい。

←資料としていただいた令和4年度 千歳市と基地

この中で、基地周辺の地域の生活環境を整備するために長い年月を費やして今にいたることが記載されている。

小野市でも駐屯地周辺地域の環境整備のため、力を注いでいただきたい。





## 【第2日】

北海道富良野市

人口：21,131人（令和2年国調）

面積：600.71km<sup>2</sup>

《視察項目》

コンシェルジュフラノ 『観光施策について』

富良野市本町2番27号

ファーム富田 『園内資料館見学』

中富良野町基線北15号



《視察内容》

●コンシェルジュフラノ 10:00～

富良野市経済部商工観光課 課長より説明いただく。

## 富良野の農業

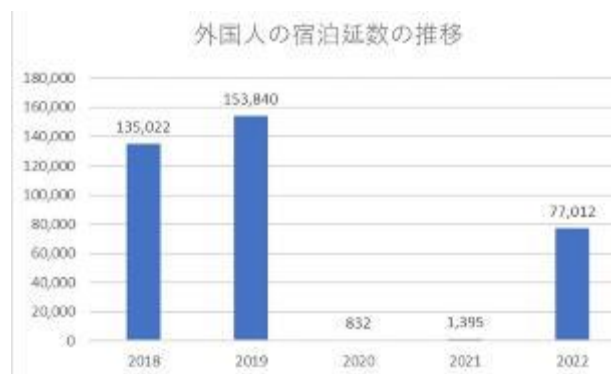
盆地の特性

…昼夜の温度差が大きい。

農作物の甘さ！

富良野のブランド力をあげる！

アスパラガス、とうもろこし、  
たまねぎ、じゃがいも、トマト、  
かぼちゃ、人参、メロン、スイカなど。



外国人の宿泊延数の推移（人）

2018年…135,022

2019年…153,840

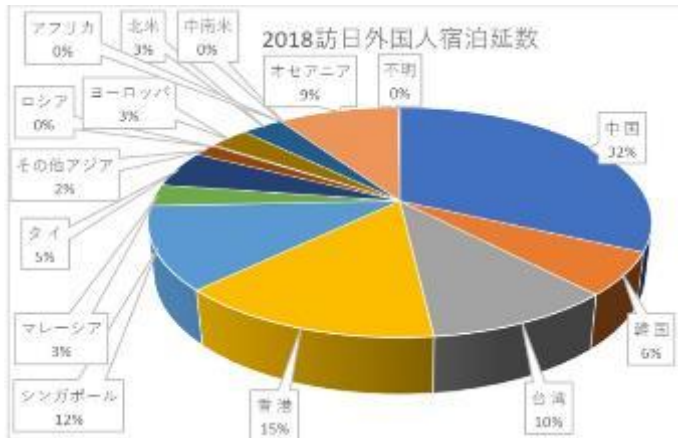
2020年…832

2021年…1,395

2022年…77,012

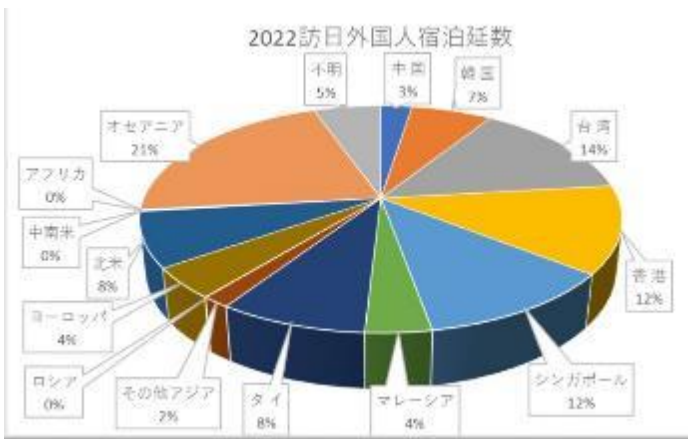
宿泊施設は、人員不足もあり100%稼働できていない。

売上は単価をあげることでカバーしている現状。



**国別の割合 2018年**  
 中国、韓国、台湾、香港で60%以上を占めていた。

※オセアニアの方はスキー目的



**国別の割合 2022年**

中国が減り、オセアニアが増加。  
 ヨーロッパからも、アルプスの雪が少ないときに、北海道に来られた。

雪質が良いと高評価！→戦略に

### 富良野・美瑛観光圏



○富良野・美瑛観光圏整備計画を国が認定（平成25年度～）

○平成25年度～29年度までの5年間で、観光地域ブランド確率支援事業補助金の支援を受け、観光地を整備

○平成29年度（一社）ふらの観光協会が地域連携DMOの候補法人として登録

6市町村の連携の始まりはJRキャンペーン。

エリアでまとまってほしいという要望があった。

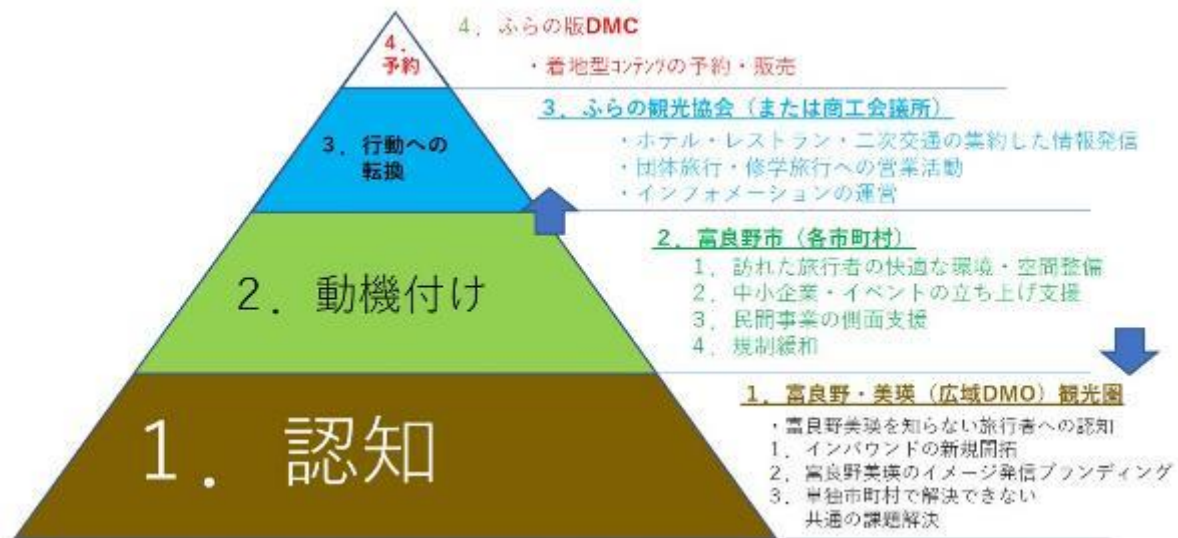
行政、観光協会、民間事業者まとめて

富良野・美瑛広域観光推進協議会を設立（平成6年～）

## ふらの版DMO

富良野市役所商工観光課、ふらの観光協会、富良野商工会議所、ふらのまちづくり(株)など、多くの団体が観光に関わり、事業内容にもダブりが発生。

## 地域DMOが必要との思い



目的・・・リピートを増やす！ ふらのFANを増やす！

## コンシェルジュプラノ

（平成30年6月オープン）7年目  
もともと街の百貨店だったが閉店後空きビル状態だった。



観光に関する富良野市商工観光課、ふらの観光協会、富良野商工会議所を1箇所に集約した

- 4階…ラジオふらの
- 3階…ホテル トマール
- 2階…シェアキッチン
- 1階…ツアーデスク

令和3年、物販店舗が撤退したことから、1階をワーケーションスペースとして活用を模索している。

宿泊者限定のレンタサイクル  
屋上デッキでイベント開催→夜空のテラス



### 富良野市観光の取り組み状況

- メイドインフラノ認定→特産をアピール
- へそとワインとスキー
  - ・ HESO FESTIVAL
  - ・ タクシーで巡るフラノのワイン旅
  - ・ bonchi powder → Tik Tok をつかって雪質をアピール！
- ツーリズムEXPOジャパン2023
- 北海道文教大学と包括連携協定締結

余談ですが… **富良野市のごみ分別** 再資源化率 89.3%



※使用済み紙おむつのリサイクル事業にも市として協力

## ファーム富田（園内・資料館見学）



ファーム富田  
「花人の舎」2階に資料館がある



### ファーム富田の歴史

**中富良野に嶺を下ろした富田家**

1903年 (昭和26) 初代 富田誠馬が福井県より入植する。

1958年 (昭和33) 香料用作物としてラベンダーの栽培を始める。

1970年 (昭和45) 富良野地方でのラベンダー栽培がピークを迎える。

地方全体で230ha以上、約250戸の農家がラベンダー栽培を手がける。

### 苦境に立たされるラベンダー農家

1972年 (昭和47) 合成香料の急激な技術進歩と貿易の自由化による安価な輸入香料の台頭。

1973年 (昭和48) 香料会社がラベンダーオイルの買い上げ中止を発表する。

富良野地方でのラベンダー栽培農家は富田家一軒だけとなる。

「もうラベンダーを生きず道はない」とあきらめかけていた。

### ラベンダーの花と香りを生かした農場づくりへ新しい夢をかける

1976年 (昭和51) ラベンダー畑が国鉄のカレンダーにより全国に紹介されて次第に観光客が訪れ始める。

1977年 (昭和52) ラベンダーサシェ誕生。

旅行者からポプリやサシェ(匂い袋)の作り方を習う。工夫を凝らしたポプリやサシェを作り、玄関先での販売を始める。

1980年 (昭和55) 独自に改良した高留機を作り、ラベンダーオイルの生産を始める。

### 念願のオリジナル香水「フラノ」誕生

1984年 (昭和59) 化粧品製造業の免許を取得。オリジナル香水「フラノ」の製造開始。

1987年 (昭和62) オリジナル化粧石けん「フラノ」の製造を始める。

### プロヴァンスのラベンダー生産者組織より修道騎士の称号を受ける

1990年 (平成2) 南フランスのラベンダー生産者組織から、「オートプロヴァンス・ラベンダー修道騎士」の称号を授与される。

ラベンダーオイル品評会において「ラベンダーオイルおかわらさき」が第1位を獲得する。

## ファーム富田の歴史

- 1897 (明治30年) 北海道へ移住者が増える
- 1932 (昭和7年) 富田忠雄誕生
- 1937 (昭和12年) 日本各地で試験栽培始まる
- 1952 (昭和27年) 中富良野でラベンダー栽培開始
- 1958 (昭和33年) 忠雄結婚後、本格的にラベンダー栽培を始め、10aのラベンダー畑が誕生
- 1970 (昭和45年) ラベンダー栽培ピーク。
- 北海道全体のラベンダーオイル生産量は5tを記録する
- 1972 (昭和47年) 日本のラベンダー畑は富良野地方を残すのみとなる。安価な輸入香料の台頭でラベンダー買上げ価格がさがり、採算がとれなくなった。

1993年 (平成5) ウェルカムハウスである「花人の舎」がオープンする

1999年 (平成11) 冬期間のラベンダーの開花に成功し、翌年「グリーンハウス」がオープンする。

2003年 (平成15) 日本最大級のドライフラワーアレンジメントを展示する「ドライフラワーの舎」がオープンする。

2008年 (平成20) 日本最大級のラベンダー畑「ラベンダーイースト」がオープンする。

### ラベンダー修道騎士の称号を再び授与

2019年 (令和元) 南フランスにて、「ラベンダー修道騎士」の称号を改めて授与される。

2022年 (令和4) 南フランスにて、「ラベンダーコマンドー」の称号を授与される。

2023年 (令和5) ラベンダーイースト園内に「源泉かけ流し天然温泉ラベンダーイーストの湯」がオープンする

1976（昭和51年）国鉄のカレンダーにラベンダー畑の風景が採用され、観光客が訪れ始める。

1980（昭和55年）ラベンダーオイル抽出成功！

1993（平成5年）ウェルカムハウス「花人の舎」がオープン

2022（令和4年）フランスのラベンダーフェスティバルに参加

## ラベンダーの商品化

エッセンシャルオイル、石鹸、香水、入浴剤、お香、文房具、タオル。

アイスクリーム、ラムネ、ティーバッグ、キャンディーなど。

園内のショップやオンラインストアでも購入できる。

### 《所 感》

富良野観光圏として、観光をまとめて戦略をたてられている。

コンシェルジュフラノはJR富良野駅前にあった商業ビルが空いたままになっていることへの対策としても、観光に関する拠点を集約するという目的が合致した。これからますます使いやすい場所になるのではないかと感じた。商工観光課に14年いるという職員の方のスキルが様々な部署との関係を円滑にしているように感じた。今後の人材の育成と、若い人の参入が重要。

ファーム富田は花の種類も多く、撮影を楽しんでいる方が多かった。外国の方も多い。お買い物もゆっくりできる。資料館には北海道という土地についての背景もわかる展示がされており、興味を持つ方も多いと思う。販売されている商品の多さにラベンダーの力を見た！ラベンダーの色合いは魅力的。布引ハーブ園は有名だが、小野市でもひまわりの時期の前にラベンダーがあるのもいいのでは。リラックス効果で、小野市の違った戦略を考えたい。

### 【第3日】

北海道恵庭市

人口：70,331人（令和2年国調）

面積：294.65km<sup>2</sup>

### 《視察項目》

道と川の駅「センターハウス」 花ロードえにわについて

えこりん村（とまとの森）について

### 《視察内容》

道と川の駅「センターハウス」 10：30

・説明 花と緑観光課 主査より説明いただく。



・恵庭市議会 議長

花の拠点整備事業として

○道と川の駅「花ロードえにわ」を改修

○花の拠点「はなふる」新築

令和2年度 P a r k P F I制度 を活用した。

P a r k P F I制度

…管理許可期間が得られる。建ぺい率2+10→12%

○農畜産物直売所「かのな」新築

○宿泊施設

フェアフィールド・バイ・マリオット北海道えにわ

平成30年度 P a r k P F I制度 を活用

○ガーデンエリア（約6ヘクタール）を新築

○RVパーク（車中泊専用エリア駐車台数19台）を整備

※5～8月はキャンピングカーで満車になる。

通常、道の駅の駐車場は宿泊はできないが、安心してご利用いただける。

1泊2,500円/1台（公式サイトより）

○花の拠点 センターハウス 改修後令和2年オープン

有料遊び空間・えにわファミリーガーデン りりあ（2階）

対象年齢…生後6ヶ月～小学6年生

第39回 全国都市緑化フェア

ガーデンフェスタ北海道2022

開催期間…令和4年6月25日～7月24日

開催場所…花の拠点はなふる周辺

※全国都市緑化フェア開催地

2020年…広島市

2021年…熊本市

2022年…恵庭市

2023年…仙台市

2024年…川崎市予定

期間中、6月には約34万人が来場！

7/13、佳子内親王殿下が植樹。

困ってある部分→

今年から7/13を花の日に制定しようとしている。





「えにわ花とくらし展」としてガーデンフェスタ北海道2022の継承イベントとして開催！オープンガーデンやきれいなお庭を「はなまっぷ」にまとめ、工夫されている。期間中の週末にはバスツアーも開催。

恵庭を拠点にしてキャンピングカーを利用してゴルフ、アウトドアなど、楽しまれているようだ。1ヶ月ぐらい滞在される方もいる。

## 川（漁川） とのかかわり

鮭の稚魚放流、水位は低い釣りをしている人もいます。

今後、河川敷でバーベキューができるよう計画。（国からのソフト事業の勧めもあり検討している。）将来的にはキャンプも。

公園で火を使うことは難しかった

河川敷にキッチンカーを出したこともある。

河川をつかった展望を考えている。

## エコロジーテーマガーデン えこりん村（敷地150ヘクタール）

恵庭市牧場277-4

### とまとの森

この大きな木に見えるトマトは1粒の種から水耕栽培で育てられている。

特別な品種ではなく、普通のトマトがこんなに成長することに驚きです。

2022年11月25日に種をまいた18代目の現在のトマトを見学。



敷地内にはレストラン、キャンプ場、BBQハウス、クラフト体験、バラ畑、ガーデンテラスなど。2013年に世界一大きなトマトの木に認定された「とまとの森」





商品としては、  
えこりん村オリジナル商品や北海道の特選品。  
トマトジュース、トマトソフトクリーム、ポテトチップス(とまとの森のトマト使用)など。野菜の直売もあり。



こな雪とんとん ビーフカレー  
ロズビィ バラ商品  
えこりん村のヒツジの毛をつかった羊毛クラフトなど

#### 《所 感》

恵庭市は基地のまち、面積の1/4が基地関係の土地だそうです。千歳市同様、自衛隊との深い関わりと歴史があり、退職された方が恵庭市に住み続けられることも多いそうです。今まで政令指定都市でしか開催されていなかった「都市緑化フェア」の2022年開催地となり、道の駅整備にも防衛予算が使われており、着弾地があるので調整交付金も利用されているとのこと

公園は災害時一時避難所、防火水槽（緊急貯水槽）として整備しており、緊急時は遮断弁が下り、給水できるそうです。

通過型の道の駅から滞在型の道の駅を目指しているというのは、まさに小野市も同じ。小野市のひまわりを利用した関連商品を開発するとともに、かわまちづくり事業をたくさんの人に利用していただける、周遊していただける小野市の魅力のひとつになるようにできればいいと思いました。

えこりん村の「とまとの森」、写真で見たとおり！水耕栽培の可能性を感じましたが、管理は本当に大変そうでした。オリジナルの商品開発は簡単にできるものではないので、常にアンテナを高く、チャレンジしておきたいと思います。